

1. 件名：「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング(再処理施設(2-128)、  
廃棄物管理施設(103)、MOX燃料加工施設(2-85))」

2. 日時：令和5年12月8日(金) 10時00分～12時40分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室 (TV会議により実施)

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

(原子力規制部新基準適合性審査チーム)

長谷川安全規制管理官、古作企画調査官、大橋上席安全審査官、大岡主任安全審査官、岸野主任安全審査官、羽場崎主任安全審査官、藤原主任安全審査官、新井安全審査官、小野安全審査官、上出安全審査官、山口係員、横山原子力規制専門員

日本原燃株式会社

決得 執行役員 再処理・MOX 設工認総括副責任者 他6名

東電設計株式会社 土木本部 耐震技術部 担当職

5. 要旨

(1) 日本原燃株式会社(以下「日本原燃」という。)からの令和5年12月7日の提出資料に基づき、以下の事項について確認を行った。

- ・今後の進め方
- ・設工認申請の対応状況(次回審査会合での説明事項)

(2) 日本原燃から、主に、以下のとおり対応する旨回答があった。

- ・今後の進め方については、今後の作業の全体像を捉えたスケジュールが組めるように、まずは説明事項の種類の考えを整理するなど段階を踏んで着実に計画を立てる。
- ・設工認申請の対応状況については、審査会合での説明範囲を踏まえて、一連の検討内容が示せるように資料の構成及び内容を整理する。

6. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

7. その他  
提出資料  
なし

参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）  
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」  
[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000120.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000120.html)
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）  
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」  
[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000121.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000121.html)
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）  
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」  
[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000122.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000122.html)
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）  
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」  
[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000123.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000123.html)
- ・ 日本原燃株式会社 高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）  
「日本原燃（株）から特定廃棄物管理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」  
[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000124.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000124.html)
- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）  
「日本原燃（株）から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」  
[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/FAB/180000242.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000242.html)
- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）  
「日本原燃（株）から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画

の変更の認可申請を受理」

[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/FAB/180000243.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000243.html)

・ 令和5年12月7日

「日本原燃(株)再処理施設、MOX 施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	公開しました。
0:00:03	それではこれから当日本原燃とのヒアリングを開始しますと、本日のヒアリングは、令和4年12月26日に申請があった再処理施設と廃棄物管理施設、
0:00:14	また令和5年2月28日に申請があったMOX燃料加工施設の設工認申請について、資料を基に事実確認を行うものになります。
0:00:24	まず規制庁側の出席者紹介しますと本庁会議室からコサクフジワラヤマグチ。
0:00:32	あとは遅れてですけど、発生側カミデハバサキ基地のオノが参加予定です。
0:00:41	何か規制庁がウェブからの参加でアライオオハシようか。
0:00:47	以上になります。それでは日本原燃の方から出席者の紹介をし本日の議題の方です。
0:00:54	後に、資料の説明会。
0:00:58	はい。日本原燃事務局の中浜です。
0:01:02	日本原燃側の出席者紹介いたします。
0:01:05	Steeringチームより、ケットク、
0:01:09	清エザワ、
0:01:10	ノモトイシグロタカヤシハラ。
0:01:15	ウェブからの参加となりますけれどもサポートメンバーといたしまして、オガセ、
0:01:20	東電設計様よりウノ様。
0:01:23	以上3出席者となります。あと六ヶ所側より、再処理及びMOXの事務局参加させていただきます。
0:01:33	本日ご確認いただきます資料でございますけれども、昨日ご提示差し上げました、今後の進め方及び審査会合資料、二つの案件となります。
0:01:44	それでは今後の進め方から、説明会させていただきたいと思います。よろしく申し上げます。
0:01:51	はい。乳井西原でございます。それでは、各について提出しました今後の進め方、
0:01:58	いうことでございます。
0:02:01	だんだん私の理事者も大変な自転車操業になって、
0:02:08	まずスケジュールとミスマッチがある部分があります。ちょっと前回当社どうやっていきたいかという説明を、
0:02:16	させていただきたいと思っているのが3-1でございます。

0:02:20	まず 2 ポツのところの審査会合Iカナザワの、すいません 1 月のメニュー、それ以降のメニューという、今別添 1 のA4、
0:02:30	5 分の 45 分後につけて、スケジュール感がまず示せないで、全体上手くミスマッチできてません。
0:02:38	やはり説明グループ 1 最初のやつですね、市審査とか御説明をどういう、
0:02:44	時間軸でできるかっていう実績がやはりないとなかなか、スケジュール感も示しづらいなということもあって、現状今、こんな形でしか示せないですけど、あと、
0:02:54	再処理とMOXのマッチングという意味でも、タテにどうなるかっていうところを示しないと全体のボリューム感っていうのが出てこないで、
0:03:03	そういう点もお示しをできるように今後さらに詰めていきたいと思ってます。
0:03:08	その中で、1 ページの 3.1 の一番下の 7 月のレ点のところ、
0:03:15	説明グループの設計項目の整理のところ、竜巻等のところが別途日程調整となっているのと、
0:03:23	煮詰まってきたのが、6 ページ目ですね。
0:03:27	6 ページ目の、
0:03:31	真ん中のところの上側に、DB設計項目の整備とあって、12 月 20 日 12 月 21 日や 12 月 26、提出 1 月と、
0:03:43	書いてあります。これ何を言ってるかっていうと前回ヒアリングの時にお話あったの竜巻代表の選定の話をつけていて他がついてなかったところを整理しないといけないというところで作業を進めてるんですけど、
0:03:56	これ代表の選定とか、前回共通要因のもう 1 回ヒアリングさしていただきました。最初の共通の説明グループ 1 では、もう大前提の考えなきゃいけない項目になるので、
0:04:07	竜巻だけで 20 日にやってもあまり意味がないかなと思っていて全体をどう考えるかってところを、
0:04:12	どうしていくかっていうところを考えなきゃいけないと思ってます。スケジュールも含めて、遠いついてませんが、
0:04:21	可能な限り来週の進め方のところですね、少なくともその代表選定の考え方を大枠を説明しながら、じゃあ大小全体を調べてどう考えていくんですかというところの整理をした上で、
0:04:34	多分竜巻含めてどう代表の考え方を持っていくんだというところをやらないと意味がないかなと思ってまして、そういったところの仕組みをちょっと考えていきたいと思ってます。そういう意味で、

0:04:44	今竜巻だけで 20 日置いてますけど、これも竜巻だったら意味がないのでその全体を含めた整理をさせていただきたい。
0:04:51	思っているのが現状でございます。はい。
0:04:55	あとは、2 ページ目の、
0:04:59	一斉のところは若干すいません 1 日ほど提出時期ずれてますが、ヒアリングは前回の 30 日に伝えさせていただく。
0:05:12	あとは SA がまだ混沌としてますけどそれだけ難しい話ではないと思っているので、
0:05:19	なるべく早くヒアリングしていきたいと思ってます。これもスケジュールに飛んで恐縮ですけど、
0:05:29	今、11、12 月の 11 日に資料出して 13 日に、12 日オダ 43 日ヒラタっていうところが、いただいてないので、これも、
0:05:39	さすがにヒアリングしていただくのに一番イダしていく、それからやりますけども、これをなるべく 11 日にはスタッフに出せるようにしていこうということで今調整をしておりますので、
0:05:51	10 日 20 ページの同じ日の審査会合資料は、ちょっと、11 日に資料提出をして、10 日、13 日にヒアリングしていきたいと思っております。
0:06:02	こういう形で順次 1 回シノヒアリングができるようにセキとさせていただくということが 3-1 の、今考えているスケジュールでございます。
0:06:12	はい。
0:06:18	うん。
0:06:19	はい。はい。3.2 の大気関係の
0:06:24	ございます。それでちょっと最初にお詫びなんですちょっと下線をです引き損ねているところがございます。ちょっとそこを補足しながら設置
0:06:33	うん。
0:06:34	で、丸一つ目の次回から御説明資料スケジュールそれから次の 0 件の 1 の 08 の急性のアノポツ、
0:06:45	泉自体は前回とを記載してるところは変わってございません。えっとです私たちも 08 昨日すいません遅くなって申し訳なかったんですけども、
0:06:55	岩盤物性岩盤減衰のところのデータ反映版を提出させていただきましたが、えっとですちょっと 11 月 II の 29 日 12 月 5 日日やで、いろいろコメントいただいているところのですねいろいろ
0:07:09	対応をです検討しないといけないというところの範囲がですすいません作業に移ってなくて、できてない状態でございましてデータをとにかくアノオダちいしたといったようなもうちょっとご丁重の仕方になってしまっております。

0:07:23	で、今度ですね追加データの表層部シノ分は、搬入版を 12 月 11 日提出いたしますけれどもこちらの方もですね、
0:07:36	極力できるところまでちょっと一杯やらしていただいていると思うんですけども、とにかく今日総武線のデータをお出しするというのがこのところで、もうちょっと優先する形で対応すると。
0:07:48	いった形でのご提出になるというところをすいませんちょっと申し上げさせていただいております。1 のところで 12 月 10 日ヤタというのはそのままにさせていただきます。次のところが駆け引き忘れてるんですけども、ポツの、
0:08:00	全然二つ目ポツ三つ目のところでございますけれども、この大井カゴイコウのですね、対応でございます。追加今日採泥たとしてがセキハマダなんですけれどもこれを反映したもの、それから、
0:08:14	岩盤非線形に対してのデータ分析っていうのはこれ等を学生が設定されてからこれまた解析することになるわけですけどもそういったところの、
0:08:26	解析なんかも反映したものというところをそろえると。これでようやく式場の特徴をとらえた地盤構造の把握というところまで、一連のものがすべてその形にはなると思うんですけども、
0:08:41	その内容を定稿提出予定これ 1 月 18 日に資料提出というふうに設定させていただいております。この 1 週間後の 1 月に大平という形でちょっとカネオカせていただいているところでございます。
0:08:56	ご説明以上でございます。
0:09:00	はい。
0:09:05	ちょっと耳にも出てます今のところずっと。
0:09:08	ちょっとこの、こちら住宅街不足でですね 1 月の会合とのリンク、ちょっと 1 月の会合日程まだ決まってないんですけど、その辺とちょっと大分、切迫感で、ちょっと無理、無理かがあるのはちょっと理解しておりますちょっとこの辺まだ、
0:09:21	十分、今後また詰めていかなあかん項目だと認識しております。以上です。
0:09:32	はい。
0:09:34	日本原燃の高井でございます。先ほどもございました溢水の方、14 日に資料提出させていただくというところで、前回の進め方ヒアリングでも交通整理というところで、
0:09:46	9 ページ目の 0.2 というところであります。
0:09:49	いただいた内容を使っております。

0:09:51	こちらの方、4. アノ個別説明をさせていただいたこちらのですね、目的というところを査定させるというところで、論点を下部というところと、あと資料3、資料4で説明することでBSM説明することというところでマトリックスにさしていただいて、
0:10:07	それを踏まえてですね、提出時期、ここでこれで良いのかというところはもう少し記載させていただいております。あと、個別の説明というところについてはまた14日の方にさしていただきたいと思いますが、
0:10:21	それぞれ、ちょっとこちらの方、基本設計方針の紐づけていうところも、今この資料です、記載できてないとかそういうところを充実させていただきたいと。
0:10:33	いうところと、あと、SAでもDBと同様に、同じような整理をしていきますよっていうところを踏まえて記載をしている部分というのは、赤字で記載して、
0:10:44	文字の中で申し訳ないですが、DBという制度はほぼ同じことがアノか書いてあるというふうにご認識いただければというふうに思っております。その中で、性としてどういうところに、を考慮しなければいけないかっていうところ、
0:10:58	差分というところを一部線を差し聞いて、
0:11:03	記載をさせていただいていると。
0:11:04	いうものでございます。
0:11:06	順番論で言いますと10月14日というところにつきましてはまず説明グループ2の資料1から3というところで2-1の説明に関わるころ、
0:11:16	思っていると。
0:11:18	あとはSAに、
0:11:19	一部ですね、評価、解析条件については、それを含めてというところで、これまでもご説明してるところ、先立ってご説明したいところ、12月、10億円させていただいて、
0:11:30	資料4、解析評価に関わるころというところについては、改めてご説明をさせていただくということで整理して、準備させていただきたいなど。
0:11:39	いうふうに考え、この整理をして、
0:11:42	説明は以上でございます。
0:11:49	ヤマダイセでアノアンドウ。
0:12:22	の
0:12:31	規制庁側から確認ございましたらお願いします。
0:12:45	規制庁岡です。どうぞ。
0:12:48	いいですか。



0:12:50	まず、とけ、今日も結局 1 がⅡの会合とかそのあとの会合について、先ほどちょっと説明があった通りグループ再処理のグループ 1 がめどついてからじゃないと設定できないと。
0:13:03	おっしゃっていたんですが、
0:13:05	ちょっと、
0:13:05	結局 1 月に何か、まず今の、
0:13:09	段階で出せそうなものっていう、その感触等をとか進捗を勘案していただきたいんですが、
0:13:16	その辺いかがでしょう。
0:13:18	はい。与儀ニシダでございます。今の 6 ページ例えば 6 ページでいきますと、SAの打ち返しも含めて、
0:13:28	資料 1 から 3 教授人材先生の最初の説明グループ 1 の資料 1 から 3 への反映。
0:13:36	このパートだけ見ても 1 月の下旬になってしまうから、これ耐震のやつでも、結局言いました通り、スケジュール感が全く今合っていないところを何とかしないとイケないと。
0:13:49	ということで、思っておりますけどまだ、
0:13:53	代表の話、あと廃棄物管理施設のパーツがほとんど今入っていない状態も代表も含めて、この間の 6 日のヒアリングを受けて、
0:14:03	資料の構成も含めて考えなきゃいけないというところも、
0:14:07	整理が必要ですので、ちょっと日付を特定するには至っていないというところでこれは当然ながら年内には、今、
0:14:18	何らか確定をしないとイケないと思っております。
0:14:21	あと
0:14:22	福士の説明グループにもですね今、
0:14:25	社内調整してますけど今スケジュールに一番最後に出てきますけど、1 月 11 日に資料提出するとすると、これ多分 2 回ヒアリングやってと思う。
0:14:37	2 月の頭、1 月の末ぐらいまでできてしまうので、ここもなかなか、
0:14:42	スケジュール的には厳しいなと、これも前に倒さないと辛いなと思っているところであり、
0:14:47	はい。そういったところも含めて、なかなか 1 月のアイテムを示してきてませんけど、スケジュール調整をしながら、
0:14:57	どこで、
0:14:58	やりとりができるかっていうのは、
0:15:00	エース検討を進めていきます。はい。

0:15:04	はい。それ超過です。とりあえず、現状ということで理解しましたが、MOXの説明グループ2は、資料1から4を提出することに今なっていますが、
0:15:16	ここは1から3で区切らずに、もう1から4まで一気に1回で、まずは、
0:15:21	全部提出されるということですか。はい。日本ニシダでございます。これも、1から3と4を切り離してということも含めて、資料の
0:15:32	作り込みのスケジュール化を見ながら考えていかなきゃいけないなと思ってます。
0:15:38	あとは今回、審査会合で資料4の構成やらせていただきます整備方針なので、具体のし説明グループ1の、
0:15:46	資料4のヒアリングを進めながらってところと関係性の整理が必要だと思ってます。
0:15:54	はい。一つは、そう思うので、グループ1から3を先に
0:15:58	12月時点を出してみてもらいながら、資料4の精査していくっていうような、
0:16:05	流れなのかなと思っていたんですが、
0:16:08	今後調整されるということですか。
0:16:10	はい。
0:16:12	すいません。
0:16:14	なかなか元
0:16:16	へ、
0:16:20	そのビジョンもないのに、今回の7ページ8ページなんて出すから訳わかんない。
0:16:28	資料3もできない、資料4なんかつくれるわけじゃないじゃない。
0:16:36	作業もできないし、
0:16:38	こちらも見れない。
0:16:42	実態をちゃんと考えて書かないから、減免は変な。
0:16:47	スケジュールを引き、
0:16:48	社長にしゃべらせ、
0:16:53	変わってないよって感じになっちゃいますよ。
0:17:00	で、何で同時にやろうって言えを変えてきた。
0:17:03	ところが、
0:17:05	あるなら聞いときますけど、
0:17:08	坂内。
0:17:13	はい。

0:17:15	何ですかね、作業は着手し始めるのは別に構わないですよこの間も言いましたけど、
0:17:22	けど仕上げないと。
0:17:24	ヒアリングには望めないし、
0:17:27	そうしたときには、どう考えても同時に仕上げるなんて無理で、
0:17:33	順々にやるしかないわけですよ。
0:17:35	どうせ資料 3 に、
0:17:37	コメントがつき、
0:17:39	それを踏まえた状況で作っていかなくちゃいけないという作業をやりながら資料の準備、
0:17:45	資料 4 の方も羽根があるので、
0:17:48	対応していくと。
0:17:51	いう実態をですね、ちゃんとイメージして、現場がどう対応できるんだと。
0:17:58	いうのを、
0:18:00	具体のビジョンをしっかりと作り込んでいただくというのが大事。
0:18:05	だと思います。
0:18:07	こちら原燃のマンパワーっていうのはあんまり把握し切れてるわけではないし、それを把握して%こうだ言う立場でもないと思って、
0:18:17	そのあたりはしっかりと、
0:18:22	衛藤。
0:18:26	国井資料 3 は
0:18:30	再処理のグループ 1 まだ、
0:18:33	仕上げ芸。
0:18:35	いけない。
0:18:36	代表の考え方なんで、またその追加で考えなくちゃいけないような感じの状況になってて、
0:18:44	大分議論をして大丈夫なんだろうと思っていたら大丈夫じゃなかったっていうのが先日のヒアリング。
0:18:50	なんで、
0:18:54	打ち返しなり、
0:18:56	プロセス段階どうステップ組んでやっていくのかと。
0:19:01	いうこと等が聞けないと、この 1 月に向けてっていうのは全くわからなくて、
0:19:10	6 ページには、従来と同じ絵で日付を書いてくる。
0:19:16	その論点をどこでどう潰し込むんだっていうのが見えないんですけど。

0:19:21	はい、乳井西田でございます。はい。そういう意味で6ページのところ先ほどの杉田代表の考え方の整理ということと、従前やっていたことのリンクページも含めて、
0:19:33	全体を絵姿変えていかなきゃいけないと。
0:19:35	認識はしています。
0:19:39	ここにパーツを出してでも、それでやることっていうのですね。それと、今やってるDの設計項目の整理だったり、セガワの整理だったりにどう関係するのかということも、
0:19:50	ビジョンとして示さないといけないと思ってますのでそれを早急に示させて、
0:19:55	はい。
0:19:57	はい。補足です。早急にという話。
0:20:02	でしたけど、
0:20:05	等
0:20:08	介護あけると、1週間しかなくて、
0:20:16	この間も話したように年末年始なり、
0:20:19	それをどう、
0:20:21	過ごしていくのか。
0:20:24	それぞれが、
0:20:26	業務を適宜やっていく中で、要求事項というか、やるべきことっていうのを明確化しておかないといけないと。
0:20:34	思うんですね。
0:20:36	にもかかわらず、代表設備が固まらないとか、
0:20:40	多分顔、
0:20:42	はっきりしないとかというと、年を明けたときに、なんじゃこりやになるわけですよ。
0:20:48	そんな年明け迎えるのか、っていう感じなんで、
0:20:53	来年はいい年にしたいじゃないか。
0:20:57	はい。
0:20:59	いうことで
0:21:01	年内、
0:21:02	はい。
0:21:03	それに向けて整理するものをすると。はい。
0:21:06	いう形で組んでいただければと。
0:21:11	はい。西原。
0:21:13	はい。おっしゃっていただき、

0:21:18	もともとわかっていながら、クリアできてないのは、資料1アノ、内田さんを出した結果、やっぱり論点だよねということになったら、
0:21:28	代表設備の選定なので、はい。そこをまずはちゃんと片付けるということだと思ってます。はい。
0:21:35	その上で代表がこういう考え方だよねって決まらナイトウつ足りないからって一条さんとかもつくれなくて、広井との関係の整理ができないので、はい。そのビジョンをちゃんと書くと。
0:21:47	それを年内には片付けておかないと、年度発電所も含めて1月に、どういう形で、資料1から3のリバイスSMジョイントして出すんだっていう姿、決まらないっていうのを、
0:21:58	御社の通りとか、そのスケジュール感だったり、整理していきたいと思います。そういう意味で今、いろいろと入っているパートもですね、優先順位を考えてやればいいと。
0:22:10	水をそっちにつき込んで、
0:22:12	いうことも含めて考えたいと思います。はい。
0:22:15	はい。
0:22:16	昨日、
0:22:18	最終り一廃棄物管理については、今回の会合で、
0:22:23	出されてそれをブラッシュアップしてくって論点が明確なので、今みたいなすすめを、
0:22:29	ステップをちゃんと明確にして欲しいと。
0:22:31	いうことでいいんですけど。
0:22:33	MOXのグループについてはまだ状況がわからなくてどうできるのかどうしたいのかがあるんですけど、
0:22:40	1月はないと思っていいですか。
0:22:45	はい。
0:22:47	夏美9ウチヤマいただきたいなと思ってます。はい。
0:22:51	コサクでやりたいっていうんだったらもうスケジュールが入ってないと。
0:22:57	それこそ無理です。
0:23:03	だって本来皆さんからしたら半年ぐらいかかるって思っていたような審査を今1ヶ月に圧縮してるようなもんですよ。
0:23:14	補足もまだfaultsしか出てこないし、
0:23:18	ということだから、限りなく無茶なんで、
0:23:22	等、
0:23:24	しっかりと線を引いて、はい。また、
0:23:27	相談して、
0:23:34	それでコサクです。今話あったように、

0:23:38	共通中に資料 1 から 3 まででもう、ここまでガイドをつくって着眼点とかも共有しているにもかかわらず、
0:23:49	実働としてそれをしっかり押さえられたものができていないと。
0:23:54	ということで、
0:23:57	できてるつもりでしたって言うんだったらまだSteeringチームの認識が甘いということになるんですけど。
0:24:04	多少なりとも認識をしていったということ。
0:24:07	このようなので、
0:24:09	であれば、何で早く代表設備、これでいいですかとか、
0:24:14	こういう視点でこういうふうにまとめてみましたっていう。
0:24:17	話がここでできないんだ。
0:24:20	ということなんですけど。
0:24:23	何ですか。
0:24:27	そう見えないハセガワです。
0:24:30	代表設備問題は、
0:24:33	正直に言うと、私も必ずこれ論点になると、入口やと。
0:24:39	いうのはちょっと認識はしてました。それで言うのですね、それは、
0:24:44	11 月の頭の段階から、十分認識はできてたんですけども、
0:24:50	相手に言うと、ちょっとその整理と、資料づくりと、皆、共通中のこっち側に、
0:25:00	かかりきりになっちゃって、ちょっと出してから、
0:25:03	ヒアリングの中で説明するしかないという仕切りになってしまったと、もうこれは反省なんですけども、もうその通りなんです。
0:25:10	根井。
0:25:11	マツノ地、
0:25:13	いろいろ考えて、
0:25:14	それなりに考えてもやってるみたいなので、ちょっとそこ、年内にちょっときちりご説明して、ベクトル合わせないといけないなと。
0:25:22	いうなと思ってるところです。
0:25:25	ちょっと一つの反省です。
0:25:27	それから、図画移動。
0:25:30	いろいろ書きながら、
0:25:33	実際使用づくりの人にも浸透していないというところは、
0:25:42	までベースで管理しながらあれでもローリングはしながらやってたんで、これ振り返りのやったんですけども、
0:25:50	やっぱそのグループに行こう、もうちょっと早いタイミングで、我々レビューを入れていくとか、

0:25:57	とかですね、あと、
0:25:59	条文、
0:26:00	担当者と、うん。実際資料3を作ってる、施設課の
0:26:06	このリンクがうまく取れてなかったなという反省で、こっち資料に作ったと。
0:26:12	この資料3作ったと。
0:26:14	こう突き合わせてみると、いや、
0:26:16	ちょっとできてない。
0:26:18	そこそこのローリングを持ち帰らないといけないなっていうのが反省で、
0:26:23	ちょっとグループ2からちょっとこうみんな集めて、
0:26:26	作業するコミュニケーションとか、レビューを早くするとか、
0:26:31	ちょっとそういう改善をちょっとしっかりやっていきたいなと思います。はい。
0:26:35	そうです。
0:26:37	まさに、
0:26:39	そう。
0:26:41	だと思うし、
0:26:42	そういうコミュニケーション取れないのが原燃の風土
0:26:46	だったと。
0:26:48	ということなんで、しっかりとてこ入れしていただいて、仕事ってどうしたらいいのかと。
0:26:55	どうやったら回っていくのか、っていうのを皆さんに気づいていただいて、
0:27:00	今後自分たちでそういうことをやろうねって思えるように、
0:27:05	していただければいいかなと。
0:27:09	d、やっぱり一番は、そのかかりきりになってしまうっていうのは、そもそも、
0:27:15	間違いで、これも元の風土なんですけど、
0:27:18	意味もない。
0:27:19	と思ってもいるのに、やっちゃう。
0:27:24	で、案の定意味がなかった。ほらねって思ってやった本人が放らねって思っちゃう。
0:27:31	小浦ねって思うなら最初からやるんだよ。
0:27:34	こういうふうにさせてくれて言えばいいじゃん。
0:27:37	ていうのを何故かゆゆイワタいて言っても聞いてくれない。どっち。
0:27:42	だって現場で一番知ってる。
0:27:49	丹は、

0:27:51	でも気づいてもらえれば、
0:27:55	多分、
0:27:57	先に、当然ながらいつものごとくスケジュールがさつき決まるんで、
0:28:01	先エミたら結局スケジュールが変わるわけですよ。
0:28:05	優先順位が変わります。
0:28:11	その辺のペースですね、あとは
0:28:15	あれが、が言ったのは条文担当と設備担当、昔からそうですよね、コミュニケーション悪い分断されて、
0:28:23	下は変わってないみたいで、
0:28:28	正直、
0:28:30	私もなるべく席にいるようにはしてるので、
0:28:34	来ればひどいと思いながら、こっちから手を差し伸べることはしますけど。いえ、前々から前回の6日の家にも言っていた通り、ボックスのみで最初に伸びて行ってやってると。
0:28:45	声をかけてもらうことを前提に話をしないと、なかなか回らないので、
0:28:50	なるべく早く困ったら言ってよっていうところはあります。
0:28:55	悩んで、時間かけてウダ聞いた方が早いだろうっていう気はします。はい。
0:29:02	はい。
0:29:03	補足。それで、
0:29:07	言うと、
0:29:09	まずわあ、
0:29:12	言ったら聞くよっていう姿勢をSteering中皆さん、
0:29:17	示していただきたい。
0:29:20	いうことと、
0:29:22	そもそも、
0:29:26	無理なスケジュールだとしてですよ。
0:29:31	それが望ましいのであれば無理じゃないようにどうしたらいいのかと。
0:29:36	いうことを一緒に考える。
0:29:38	いうこと。
0:29:39	だと思っんですね。
0:29:41	それが今回で言えば、代表設備を明確にするってことなんですよ。
0:29:46	代表設備明確にしたら無駄作業が発生しなくなるわけですよ。
0:29:51	作業も、
0:29:53	限定して、それに特化し事ができる。
0:29:57	けど、
0:29:58	代表設備が不明確だと。



0:30:01	念のためこれも作っておこうよとかっていう作業が発生したり、
0:30:05	それじゃねえよと言ってやり直しになったり、
0:30:08	ということで無駄なり、時間も含めてノムラが増えてくる
0:30:13	ということになるので、
0:30:15	きついつて思うんであればこそ、
0:30:18	そういう取り組みをまず、
0:30:21	Steeringチームにやってくれと。
0:30:23	しかるべきだと思うしSteering値も受けて、
0:30:27	しっかりとこれで大丈夫、これだけやってくれ。
0:30:31	ていういえるように整理をすべき。
0:30:34	だと思うんで、何となくっていうところはなく、ちゃんと
0:30:40	次、
0:30:45	原発がですね、ご指摘の通りだと思います。はい。
0:30:52	そう。補足でそしたら本当は今日、1月なりその先まで含めてどうするの かっていうのを、
0:31:01	今日の資料であれば8、6、7ページ8ページみたいなのを、
0:31:07	非現実的なのではなく、実態に即した形でしかも、時間軸も多少あった 上でいうと、
0:31:15	いう形で示していただきたかったんですけど。
0:31:21	グループ1の実情、先ほどお話したその代表を考えながらっていうまず ステップを明確にして、それによって時間軸が少し見えてきて、
0:31:31	それを踏まえて、同じようにグループにやるわけじゃない。
0:31:36	はずと。
0:31:37	最初に代表を整理しますよねと。
0:31:39	ということからすると、
0:31:41	作業時間も、また見積りの仕方が変わってくるはず。
0:31:45	で、
0:31:47	それで線を引いていくと。
0:31:54	資料3と資料4、どういう形で作業していくのか
0:32:00	1、
0:32:01	1を別に割り当てて並行してやる。
0:32:04	ことができてるってことないですよ。
0:32:07	確実にかぶりますよ。
0:32:10	だとすると、
0:32:12	志賀刈羽施設、
0:32:14	つまり重なるチームっていうのは、当たり前前提ではあるので、ECC Sで別にNチームは作って

0:32:21	とはいえ対象がかぶる、CABRIというのは、当然それぞれのチームでもあるんで、そこをうまく配分しながら、
0:32:32	かつ、重なっていくとある程度やり方が見えてくれば、それがそのまま経験値になる。
0:32:37	繋がっていくっていうのも、メリットとしてはあるのかなと思ってますけど。はい。
0:32:42	はい。それで、根本的にまずいのは、資料4の書き方が、
0:32:48	説明グループ123って書いてますけど、
0:32:52	資料4の説明グループって聞いてもいいです。はい。
0:32:55	資料3の説明グループと違うって言うので。
0:32:58	こう書いてること自体が間違い。
0:33:08	ということで、また来週、
0:33:13	そのスケジューリングをどうしていくのかっていうことでもいいですけど、
0:33:19	もう少しちゃんとした話ができるように、
0:33:24	下にハセガワです。スケジューリングという意味ではですね、今やろうとしてることをちょっとお伝えすると、
0:33:32	このグループ7までを、
0:33:35	資料3までですね、一旦年度内に作ると。
0:33:41	いうことをカシマ社内としては、目標として掲げてます。その上で、実際に作業する。
0:33:51	担当者っていうんですかね、名前まで特定して、それぞれで、
0:33:56	できるのかできないのかっていうところを、
0:33:59	来週キックオフしつつですね。
0:34:02	スグループごとに、
0:34:05	データベースのスケジュール管理を作ってますね、やろうとしているのが、今の現状です。
0:34:12	それが成立するのか、っていうちょっと見極めを、
0:34:16	これからしないといけなくてですね。
0:34:19	かぶるのはもう明確で、SAと、それから耐震関係の関係と、あとこれを全体を回す、まあ、事務局含めですね。
0:34:28	取り回し。
0:34:30	ちょっとその辺の体制、
0:34:32	役割分担をどうしていくのか、っていうのをちょっとこれから考えないといけないなってのはちょっと思ってる。
0:34:38	ということになりますんで、ちょっとそれで、
0:34:41	グループ3から7まで、2月3月どう出していくかっていうのは、ちょっと見極めたいな。

0:34:47	はい。
0:34:52	はい。
0:34:53	サブです。
0:34:56	まだ数のは、
0:34:59	52
0:35:01	では、
0:35:02	ありつつ、
0:35:08	等、
0:35:12	できが良くても、
0:35:15	ペースとしては見るのが厳しい。
0:35:18	ぐらいの量になるんじゃないかなと思うんです。
0:35:22	ね。
0:35:23	できが悪いと、もう無理。そうですね。
0:35:28	で、
0:35:29	無理なものをただやみくもに出して出しました。
0:35:32	と言っても、結局やり修正作業。
0:35:38	でして、
0:35:40	それが現場の士気が上がるやり方になってるのかどう
0:35:45	1 回作ってみて、何となく勘所着いたから修正がしやすくなったとかってあるならいいかもしれないですけど、
0:35:52	本当かなという。
0:35:54	経過するので、
0:35:57	うん。
0:35:59	今のスケジュールでいいものを出してくれるに越したことはないんですけど、
0:36:04	そこも含めてグループ 1 で話をしているところをどう整理をつけ、グループに展開できるかにかかっているんじゃないかな。
0:36:14	うん。はい。
0:36:21	補足です。それで言うと、なおのこと資料 4 着手できるのかなって感じ。
0:36:28	これもだからその着手する前に、どんなことをやらなきゃいけないのか。
0:36:38	資料 3 にかかりきりの状態になる中で、資料 4 をどう整理をしていけるのかと。
0:36:45	いうことも含めて話ができるようになるといいかなと思います。
0:36:52	はい。ギリシャでございます。はい。
0:36:59	評価項目一覧表ですが、最初はつくれなかったのもので、
0:37:05	全部、
0:37:07	その捨て

0:37:16	すいません、カミデですけど、さっき、
0:37:18	小坪さんはもう、
0:37:20	最初の資料3を作っていく上で、耐震がかぶっちゃうっていう話だったんですけど、
0:37:29	そんなにかぶるのかな。
0:37:31	気がしていて、何か、
0:37:33	一応やろうとしてることをとらえると、グループ1グループに何か大体のことが語られるのかな。だからそれ以降はあんまりこう、
0:37:43	中心として何かあるっていうことでもないのかなって勝手にイメージしたんですけど、どんな感じ。
0:37:50	まず、ラフにしか見てないんですけども、グループ123。
0:37:55	3で、耐震かぶるのかなとは思ってます。
0:37:59	4の笠伊井もちよっと出てくるかなあって、何とも思っていて、ちょっとまだ細かく見れてないんですね、そこちよっとこれからみたいなの。
0:38:10	そうです。
0:38:11	日本、多分、関西っていうのはその、その結果のところにいる画素数でやるわけでも、大きな方針とか、そういうところは12で大体もう固まってしまった後は、
0:38:22	繰り返しになるんちゃうかという、
0:38:24	ご質問。
0:38:26	我々その最後の結果が出てこないことを考えるとかぶるんですけども、考え方とか、そういう方針とかいう点では1人で大体かもしれない呉と固まってしまっ後はコサクですけど、
0:38:39	グループさんは、
0:38:41	かぶらないはずだ。うん。そうですね。グループ1に入っていると。
0:38:45	耐震関係でそちらに全部かぶせる昨日の話だけど、
0:38:49	副作用はかぶらないと。
0:38:52	一方で4になると確かに消火説明なり何なりっていうのは、発電の形になるので、その部分は入りますけど、それも決得さんが、
0:39:02	言われたように、主にグループ2のところ、
0:39:06	ていうんすかね。のやつの焼きなおCの形でしかないはずだから、
0:39:12	こんなところで新たな評価方法が出てくるわけがないと思うんで、
0:39:17	その点では、そんなに労力はかからない。あの人、何らかわかってる人が入る必要があると思うけど、
0:39:24	そんなに労力になるってもんじゃない。
0:39:29	そのあと2制御室緊対が来る。
0:39:32	ので、そこがちょっとポイントかなとは思いますが。

0:39:36	それでやってもうグループ 1 と同じじゃないっていう。
0:39:41	ことじゃない。
0:39:44	見るようにいたします。
0:39:47	規制庁。
0:39:48	多分、代表をこれでやりますって言った時点で大体、多分、
0:39:53	それを早くやしないと、
0:39:55	無駄に
0:39:56	やなくてもいいと。
0:39:59	うん。
0:39:59	案件
0:40:00	名、
0:40:01	その話は、
0:40:08	はい、すいません。はい。
0:40:11	は、
0:40:12	何も考えたっていうだけであって、ウエダに説明したいんだっけみたいな。
0:40:23	正当化です。今の話もちよっと関連するんですが、ボックスのグループ 2 の資料 1 から 3 の代表っていうのは、再処理のグループ 1 で悩んでるような、
0:40:33	いろんな事象があってそこで代表をどうやって決めていきましょうでは、
0:40:37	ない、内容を持ってないんですね、どちらかというと目標機能ごとに分類してるところもあるので、その中で、代表というか、オーバーオールにその設備ミナミで、
0:40:51	確認していくってグローボックスと同じパターンであれば、
0:40:55	火災も消火設備、
0:40:58	でも、今回出てくるのが、通常のDBの世界での消火設備なんで設備としてはあまりものがないっていうところですね。
0:41:08	外傷も気熱田課長のところぐらいしか、多分出てこないんだとフィルター関係ですね、外傷の火山とかの話なんでそこはもう、
0:41:19	考え方は、最初にも適用できるかもしれんけど、同じことを言ってるだけなんで対象物同じで、上、合わせ技でいけるかなと思いますんで、そんなに代表で悩むことはないと思ってます。
0:41:30	はい。なので、規制庁甲斐です。なので先ほどのスケジュール感の中で再処理のグループ 1 の代表を決めてから、ボックスの説明グループ 2 をやんなきゃいけないっていうことでも、
0:41:42	ないとなっていました。はい。はい。そこは、は、それをまた待たなきゃいけないみたいな頭にはならないで欲しいなと思った次第です。はい。

0:41:53	はい。
0:41:54	おっしゃった
0:41:56	あんまり認定でもないと。
0:41:58	はい。
0:41:59	はい。規制庁加来です。で、あと、今回 7 ページ目 8 ページ目は大してもう議論することはないと思っていたんですが、グループを一つのまとめて 3、例えばMOXは 3 と 4 まとめたり、
0:42:11	してますが、ここは、説明グループとしては違うんだけど並行して進めるという意味ですよね。はい。
0:42:19	そうしないとグループは、
0:42:23	もういいのかしら。
0:42:26	はい。規制庁からちょっとそういう疑念が生じましても、そこはつけていただければと思います。
0:42:34	ページ目の説明グループ 5 って、ほとんど残ってないと思うんですが、
0:42:39	あえてここだけ
0:42:42	すごく分けて書いているのも何か違和感があった。
0:42:47	次のフェーズでですがちゃんと検討して、記載いただければと思います。以上です。はい。
0:42:55	あとコサクですけど、それで言うすと。最初の説明にもありましたけど再処理MOXを分けることにも非現実的な感じが。
0:43:04	あつてですね、
0:43:06	再処理に、
0:43:07	とコラボするところだってあるはずだから、
0:43:11	それも含めてやってそうすると、これグループの数だけで書いても、訳わかんなくてやっぱ内容は何なのかと。
0:43:19	ことで書かないと、相互関係わかんないです。
0:43:24	これ資料 4 の方も、
0:43:28	そうすると資料 3 のここまで進んできたから、資料 4 のこの部分を説明、確かにそうだねっていうのが、
0:43:35	見える。
0:43:36	になるんじゃないかと。
0:43:39	はい。
0:43:40	澤井さん。
0:43:42	いたしました。はい。
0:43:45	大分前になりますけど。はい。御説明グループ名については中身を書きながら、どういうリンケージかを示して関係整理します。はい。
0:44:06	土山。

0:44:09	ですけども、
0:44:11	もう、
0:44:12	動きとか、
0:44:14	そのた外、
0:44:16	いや、いや、
0:44:17	設計項目の整理の資料を、
0:44:29	こういう設定をして、
0:44:35	はい、すみません。はい。
0:44:39	説明グループ1に関する外傷の説明設計項目の整理は、どちらかというともう先ほどご説明した代表をどうするかのを考え方を、
0:44:51	竜巻や竜巻とか、外会社の方の火山とかではなくて全体通してその考え方を整理していくと、いうことが必要なものだと思ってますので、
0:45:01	フェーズを考えながら、かつ
0:45:04	やらなきゃいけないことの全体のリンケージもお示しするといった中で、その相関関係もわかるようにしていければと思います。はい。
0:45:24	ウィーンの
0:45:27	原さんの方から説明いただいたと思うんですけど、社会の実践にを付けられてるのは、
0:45:37	起立したいんじゃないか。
0:45:39	はい。
0:45:41	示して、共通点の前にあるとしても、その方針を制限したってということ。
0:45:49	と、認識したんですけども、この間、中身は考え方を14日とかに示しますところで、高見はそこで確認できればと思ってて、
0:45:59	論点的なところで、
0:46:02	若干前回のヒアリングでコメントしたことちゃんと認識されているのかわかって気になってること2点ほどちょっとお伝えしておきたいんですけども。
0:46:15	が1-3でフル
0:46:17	の、やっぱり精度っていうところなんですけど、ここで、
0:46:24	そもそも冒頭で、市政万博田尾。
0:46:30	どういう位置に設置するっていうそもそもその設計コンセプトっていうところからご説明いただき、お願いします。
0:46:38	お願いするんですけど、この中桐水源を制限させるためにつけられる範囲すべてに、
0:46:45	その上で、こういったところはこういう観点で外しますってなるのか、それとも何か濃い水量にここは聞くためにこういうところにつけますとかいうまずオオクボセキコンセプトから説明いただいて、

0:46:58	その設置位置の考え方を示してくださいってということをお伝えしたのでそれを論点、
0:47:04	一声説明いただきたいと思う。
0:47:07	います。
0:47:09	まず、この辺、
0:47:12	はい。日本原燃の高谷でございます。はい。すいませんここ明確に記載できて、申し訳ないんですが、おっしゃる通りの論点というところで、
0:47:20	承知しております。
0:47:22	まずはですね今どういうふうに配置をするかっていう、それぞれの考え方というところで、作業、
0:47:29	保守点検とかですね、SGとかで作業で干渉するってことは必ずありますので、その中で、その場所に対してつける、つけないというところ。
0:47:39	あとは全体として、ソーシング評価委員会を踏まえて、どのような設置の考え方をしてるかというところの全体の形成等の説明をさせて、
0:47:54	ハマグチです。
0:47:55	技術の設計恒設っていうところから、
0:48:01	1点は、
0:48:02	1年4でアノイシイのどういう建築確認。
0:48:05	設計っていうところで、ホソノ前回のヒアリングで、そのPCの方法とか確認の方、こういうパターンがあって、ご説明いただいたんですけども、そもそも、
0:48:15	どういった場合の手法を使うのかっていうその設計としての考え方を示してねっていうところもコメントしてると思うので、その点もちゃんと説明に入れていただくようにお願いします。
0:48:29	結果としてこういうのやりますっていうじゃなくて、
0:48:32	PS設計としての説明を、
0:48:34	話。
0:48:36	はい。
0:48:37	はい。日本原燃の高井でございます。はい。おっしゃっていただけてる通りで、もう前回の資料としてはまず設計が示せていない。
0:48:44	いうところに根本的な問題があったのでどういうふうで、
0:48:49	どっちするかっていうところの、
0:48:51	経営という観点で、整理をする。
0:48:54	いうところ、ここも大変、
0:48:58	さしていただきたいと。
0:49:05	いや、
0:49:10	もし規制庁側から何かあれば、



0:49:17	規制庁からです。の別添 2 の、今のところで、1-2 の話なんです、これ、
0:49:25	前回もちょっと前回の平でもちょっと荒井の方から伝えた通り、その論点の二つ目のポツ、耐震性能冷却塔などもってというのは、
0:49:37	ちょっと確認なんです、前回のヒトミ、ちょっと曖昧だったんですが、許可の時に第 1 回の設工認の時に、
0:49:46	そういうところも除外するのを考える、考えなくても十分保守的だから困ってないから、保守的に全部の設備をまず抽出しています。そこはちゃんと調査して抽出してましたという。
0:50:01	ことだったと思うんですがまずその認識で大丈夫ですよ。
0:50:04	はい。日本原燃高でございます。おっしゃる通りでございます。
0:50:07	はい。その論点を説明すればいいところを、内容の方で、急にその五つ、②DBと下のマルですねイシコから除外する 1 スミエとその考え方を、
0:50:20	示すといって半年後、半年間ぐらいかけて、結局、
0:50:26	地下にあるからとか、そういう説明が出てきて、地下にあって、
0:50:33	上に、許可や、大体設工認ではスロッシングで上に出るかもしれないからあえて入れています。
0:50:40	な、地下にあるからっていつてちゃんと出て見てないことを説明してくださいねって言ったらかちょっと説明に窮してで、
0:50:47	そういうその説明が追加されることと、協会の設工認のときに、全然節、説明しなくても大丈夫だからって言っていたものを、
0:50:56	市保守側に持っていくことによって説明が出てきてしかもその説明に今苦しんで時間かけてるっていう。
0:51:04	ことに関してすごく違和感を感じていて、これ原燃にとって何かメリットはあるんですか。
0:51:17	はい。日本原燃の高谷でございます。
0:51:22	すいません、メリットというところで今ちょっと即答ができるものは、あまり思いつかないんですが、やはりこの設工認の審査というところで大枠として許可でお示した内容に対して、
0:51:36	具体の設計というところを示すにあたっては、全体像を示した上で、ちゃんとここについてはスクリーニングをしますよというところをお示すべきだということで、今この整理を、
0:51:47	さしていただいている状況でございます。
0:51:52	政調会でそれで何か減免にとって今、困ってないんですよ保守的に設定して、

0:51:58	それを説明すればいい、いいものを変えて、非保守側に持っていきながら、いろんな説明が発生してしまって、それに時間を窮している。
0:52:09	そこがずっと違和感があって、なぜ非保守側に持つてくことに対して、コストを費やしているのかっていう、そうした評価これ、何もないとは思っているんですが、
0:52:21	円として、そ何でこれを、
0:52:25	に取り組んですかっているのが進む。
0:52:32	耐震性の話は、こちらが宿題として認識してるのがずれてるかもしれませんが。第1回の時MOXと再処理でそれぞれ概略評価だと言って、
0:52:46	屋外の溢水の話をして、MOXについては、冷却とかそのもの、その方が自分の持ち物じゃないので、多めに、とりあえず保守的に全部ぶちまけますよと。
0:52:57	言って、かつ概略評価だということで最終的には、何らか詳細な評価をしても、決めていきましょうということで、第1回は、大枠を抑えるという意味でやりました。
0:53:09	最初にも同じように、冷却塔自体が防護対象なのに、溢水に入れていいのかっていう議論はありながらも、概略評価という名目のもとに、
0:53:21	かなり大盤振る舞いをしたという気はしてます。ただ、その評価水源としての考え方はちゃんと整理をしましょうねっていうことを宿題にしたまま、
0:53:31	概略評価との関係で持ち越したという認識をして、なので今後、第2回とかで、さらに防護対象が増えてきて、
0:53:42	その中でどうやって評価をしていくのかっていうのは、ちゃんと整理しましょうねっていう認識だと思っていたので、今回冷却塔を1セキ入れるかどうかというところは整理が必要だなということで、
0:53:53	考えてました。ただ地下の話は確かにおっしゃる通り
0:53:57	ちゃんと議論をしないといけないところなのに、話を出してる気がするのでそこはちゃんと整理が必要だと思ってます。はい。
0:54:04	はい、規制庁烏アノこの論点は正しくて、清考え方を整理しましょう。考え方が全然できてないので整理しましょうは正しいんですけど、その内容が急に
0:54:16	排除するものを選定していくっていう。
0:54:19	を取るなっていることにずっと違和感を感じていて、そのロジックをまずしっかり組むことが、
0:54:25	全体像を組むことが重要だと思っているので、急に何か個別に見始めた。

0:54:31	からこういうことになったんだらうなと思いますので他の論点も含め、まず全体像をやっぱりしっかり、その考え方を示すことが大事だと思っていますのでよろしくお願いします。
0:54:41	以上です。
0:54:44	はい。日本原燃高谷でございます。ありがとうございます。
0:54:48	そうですね。個別にどうスクリーニングかけるかというところの個別の話になってしまっていたというところは認識いたしました。そもそもこの水源としてどういう考え方で選定するかというところ、それも含めてちょっと全体を、
0:55:10	コサクです。その際にせっかくこの表をつくられた。
0:55:15	で、
0:55:17	SAのときにはどう設定すんのっていうのと、DBの時とっていうので、差分つけるのかつけないのかってつけるときにはこういうところで、
0:55:28	違いを明確にしていきますよっていうようなことだと思うので、
0:55:34	いろいろと選択肢は取り得る。
0:55:37	ところだと思うので、
0:55:40	そこも含めて考え方を整理していただくと。
0:55:43	全体として理解が進むかなと思います。
0:55:52	エンチョー山内ですわ。
0:55:57	あ、規制庁ハバサキです。耐震のスケジュールについてちょっと確認したいんですがいいですか 2 ページで、
0:56:06	まず追加ボーリング調査のデータの扱いで、それぞれに反映って書いてあるのは、これは反映っていうのは、各資料に、
0:56:16	定期、掲載されますっていうイメージであって、例えば物性値に既往のデータを含めて、物性値しよう決めますっていうのは、これは、
0:56:26	次の 1 月 18 日の提出資料まで待たないと出てこないという認識でいいですか。
0:56:33	前年、前年ノモトでございます。それで今ちょっとご質問の意図を取り違えていたら申し訳ないんですけども、都会御所
0:56:42	冷や反映内容、これを反映しますって書いてるところのことです。
0:56:48	すいません一つ、規制庁ハバサキ井清会議資料にかかわらず、昨日出てきた大震災 8 についても、
0:56:55	同じことなんですけれども、はい。
0:56:58	古作です。うん。何で通じないのか、なんですけど。
0:57:03	追加調査データ反映っていうのは、やたらめったら書いてるじゃん、これははいはいはいはい。

0:57:11	これは追加調査のDたを入れたということでハバサキさんおっしゃっているのがそれに基づく、
0:57:21	アサノを非線形の解析ですとか、その岩盤物性の平均化ですとかそういう処理を入れたものまで入らないということだよねというお話があればその通りでございます。
0:57:37	規制庁浜崎です。じゃ、入れたものについては1月の18日の資料まで待たないということなんですね。はい。そういうことでございます。失礼いたしました。規制庁浜崎です。そうするとそれが次の丸の基本地盤モデルと設定多分これが同じことを言ってると思うんですけども、
0:57:54	いわゆる基本地盤モデルっていうのは、野本さんもお存知のようにこれ初期地盤のモデルですよ。
0:58:00	で、その初期地盤のモデルを今度各地震動によって、清家アノ解析をして、
0:58:08	建物の応答解析に用いるモデルっていうのが、
0:58:13	次のステップに作るわけなんですけども、それが入力度の策定のステップだと思ってます。これ、同じ1月緑になってるんですけども、
0:58:22	同じ時期にやるやるのは、現実的じゃないっていうのと、この基本地盤モデルを明日設定された後にですね、我々としてもいろいろ確認する必要がある。
0:58:34	項目が多いと思ってますんで、それを今まで県のやり方ってその、例えば12グループが12グループ全部を、
0:58:43	一括に出してくようなやり方をしまして、
0:58:48	そうすると入力児童の策定についても、そこまで一括すべて出して、
0:58:53	取られてもこちらとしては途中のステップで確認ができないっていうのと、
0:58:57	先ほどの話があったようにですね、例えば今回、グループとかG14とか特徴的なものを先行させて、基本地盤モデルを設定して、それで確認を終わった後に入力地震動を策定すると。
0:59:11	いうステップを踏まないと、
0:59:13	まず、今抱えているスケジュールってのはこれ、
0:59:17	とても現実的ではないっていうのと、あとやはり全部とにかく全グループ、まとめてから次のステップ行くっていうやり方っていうのはですねちょっとそこは、
0:59:27	改めた方がいいんじゃないかと思うんですけども、そのあたり、
0:59:33	現状としてどう考えてますでしょうか。
0:59:35	はい。元ノモトでございます。はい。おっしゃる通りそうですね。全部まとめてではなくて、第何ですかねた特徴的なものといいますか代表的なものから、

0:59:51	順次お出ししていくというアプローチは、それは取れるものだというふうには、思いますでちょっとそういう発想がなく、今こういうスケジュール引いていると。
1:00:03	というのが事実ではございます。ちょっと1点ですねすみません認識がですね私ちょっと違っていたらというので合わせさせていただきたいんですけども、今ここで基本地盤モデルと、
1:00:15	いうふうに書いておりますのは、これは設計用の、もう日比地盤モデルの意図で、これまでそういう定義でちょっと使っていたんでそのまま使っているというところでございます。ですんで、
1:00:27	今のですねas-isの地盤の把握のところは、その上段の式場の特徴をとらえた地盤構造の把握という、ちょっとここで定義しているとちょっとそういう作りに考えてございますので、
1:00:41	ここ1月18日のですね、ところで、基本地盤モデル
1:00:45	というふうに書いてございますのは、このですね上の敷地地盤の特徴をとらえた地盤構造as-isのものを、検討がここで完了するわけですが、
1:00:56	ちょっとそれと同時に、基本地盤モデルの設定のところまで、もう行き着か事後的するようなイメージでこれは書いておりました。ただ、今ちょっとおっしゃっていただいたように、
1:01:08	疇津のところ、やはりちょっと確認がしないといけないし、一足飛びにやり過ぎだよなというふうなご指摘もそうご最もかというふうには思いますし、
1:01:19	ちょっと先ほどのですね代表的な地盤んのグループを成功させて進めたらどうかということも含めて、ちょっと進め方ちょっと再検討させていただければというふうに思います。以上でございます。
1:01:34	はい。規制庁浜崎ですわかりました。今の沼田さんの元説明ですと、
1:01:39	as-isのモデルがあり、基本地盤モデルがあり、入力地震動策定の、これさっきは私の方から説明したような、実際、
1:01:49	設計応答解析で、地盤モデルっていうのは、作られる最終的にはですね、応答解析で用いると思っておりますので、要はそういう3ステップがある。
1:01:59	中で、それぞれのステップで我々としては確認事項があるので、一括でやるのかやらないのか、その効率性も含めてですね検討してもらえればと思います。
1:02:10	あと現実的な工程をやはり示してもらいたいと思いますので、
1:02:15	よろしいですか。どうぞ。辰己都築前野本でございます。はい、承知いたしました。

1:02:21	少しちょっと認識、ちょっとを確認といいますか、今私がどうしようかなと思っているところを、ちょっとご相談させていただこうと思うんですけども。
1:02:35	ですね今の話で敷地地盤のas-is大井について、まずちゃんをご確認をすると、が必要があるというところなんですけれども、それはその通りで、もちろんご審査いただくんですけども、
1:02:49	えっとですね、今の話で、主盤について、そのas-isをやるそれから、その次設計用の設計をやるという、
1:03:01	やり方を先行させつつアサノも能が追いかけていくっていうやり方もあるし、ただそのas-isは全部、並べた上で、設計という形、そうか。
1:03:14	ただあれですね、12グループと言いながらですねその中には、共通的なパラメーターを引っ張ってくるものもございますから、一旦as-isでご提示し切って、ご審査いただいて、
1:03:28	それから、設計用のモデルの設定にどうしてもならざるをえないかなというところはありますので、
1:03:36	そういう意味では、as-isとしての後で、データのご定義を幾つか先行してちょっとご提示すると。
1:03:44	いったような形でできないかというのが、当面ちょっと私が調整すべきことなのかというふうに思ったんですけども認識おっしゃっていただいてるコウイトウと合ってますでしょうか。
1:03:58	はい規制庁ハタ土岐です現段階でas-isを12を幾つかに絞るだとか、耐食性があるのかどうか、それはそれに関して我々は判断できません。
1:04:08	で、そこら辺を分析結果を含めて、
1:04:12	現地の方で判断してくることになると思いますので、今野さんの言われたようなアプローチが可能なかどうか、それはこちらで説明を受けてからということになりますので、その検討の方をお願いしたいと思います。
1:04:25	はい。全然載せ承知いたしました。はい。as-isの最後のところまで持ち合わせるのお題を一番で、もっとスケジュールをですね刻んで前倒しでちょっとご定義していきつつ、
1:04:36	ご審議いただくといったようなところができないか検討させていただきます。以上でございます。
1:04:42	はい。北脇です私から、スケジュールについて以上です。
1:04:48	うん。
1:04:49	規制庁カミデドイ今言われた、
1:04:51	ズイズ代表で進むas-is大丈夫。現在、代表させるという言い方悪いけど、どのみち全部出さないといけないのは間違いがない。

1:05:03	そのas-is
1:05:04	等自体を、全部そろってからじゃなくて代表的なグループのものについて、先行してそろえて、ご提示するっていうアプローチが可能じゃないかということをおっしゃっていただいたんだというふうに思いました。
1:05:20	すいません。
1:05:23	それはうちでは判断できないんでっていう話をしたので、
1:05:26	そういうことでそれができるっていうそちら思うんだったらそれでもいいけど、私は一通り並べられるものと、
1:05:33	全然ノモトです。すいません。
1:05:36	代表できるかどうかというのは、基本には表の設計のところの話ではなくって、畔ズーのところ、
1:05:46	補足ですけど、代表っていうから、そうですよね。
1:05:50	何回かに分けて出させてもらえませんかというだけ。
1:05:56	だからそれは今回、もうヒガシ中オオヒガシにしと。
1:06:01	順々に出したのと同じだから別に、
1:06:03	そちらの作業プロセスとしてどうあっても構わないとは思いますが。ただ
1:06:10	それでトータルどういう判断ができるのっていう話からすると出揃ってからじゃできないっていうのは、これまでの地盤の話と一緒に、
1:06:18	そろってきた今回話しましょうって言うてるという事象だと思います。以上。
1:06:26	はい、日本イケダです資料を出したから審査するようではないので、資料を出して審査をしていただく過程において、当然中にこうやるというのは非効率ですので、ちゃんと
1:06:38	代表じゃなくて、順番をちゃんと説明して、あと一緒とか、ちゃんと全部説明し切って、次のステップ、
1:06:44	うん。
1:06:44	だと思いますのでその辺、現実何行でもう少しブレイクダウンする工程を出さないと汗水出します。基本いたします。入力出しますだけでは、見にくいわかりにくいというご指摘だと思いますので、内部で検討して、
1:06:59	スケジュールリング、クラブ共通時と同じような話で、もう少し精緻に組まないと、進め方がわからないというご指摘だと思いますので考えて参ります。以上です。
1:07:08	はい。佐古です。
1:07:10	追加で申し上げると、最初の方にあつたように、1月18、提出、25日やっというのがちょっとスケジュールとしてどうなのかなと。
1:07:19	いうことも含めると、今の内容として先行して何か
1:07:25	中心となるような論点、

1:07:29	が抽出されればそれをまず話をしていきたいということ。
1:07:35	やってそれをつぶしてから全体の話をするということでもいいと思うし、そういった戦略もまた次回聞かせてください。
1:07:44	3点以上でございます承知いたしました。
1:07:48	と規制庁カミデ
1:07:50	as-isが18、1月18って丸の内できないかって話ですけど。
1:07:57	そもそも何でここに正規やっばってあるかが私にはよくわからなくて、
1:08:02	あんまりこう、追加で調査をしたり、分析したりとか、手間のかかる作業ではないと思ってたんです。
1:08:10	岩盤物性だと平均するんですよ。規制系はどっちか選択するだけだし、減衰であっても、
1:08:18	分析が終わっていて、並んでいるんだから、あとはもう決めの問題というか、これ使うっていう、言えば終わると思うし、表層も一緒ですよ。うん。
1:08:28	という意味ではどんなん、どういう、何に時間がかかっちゃうんだろっていう。
1:08:33	不思議に思ってるんですけど、どこに時間かかるんすか。あ、えっとですね、まず岩石コアがまだ全部データが取れてません。これでない。
1:08:42	取ることになってますんで、このですね地盤の密度の情報っていうのが、そこで出て、出揃ってくることになります。そういうものを今度また平均化してというのを、
1:08:55	年明け対策をしていくことになります。そういう形で、一番の下部の物性が決まってくるということになるんですけども、決まった後に今度は非線形の解析を走らせると。
1:09:08	ということで、ちょっとシーケンスで作業が走っていくということで、今1月年明けからですね、また分析といいますか解析、整形の部分の解析を走っていくということでそれが、
1:09:21	そろった時点で、それをまとめる形で提出するというの、ちょっと素直に行くところだったということではあるんですけども、ちょっとそこをもう少しさとかっていうふうに思いました。
1:09:33	まず、岩石コア試験の位置付けが、はい。
1:09:38	4石でいうと減衰のところがかつ、
1:09:41	減衰と言ってもカワセコウ試験だから、逸散減衰はいらなくて、材料だけですねと思うと、
1:09:49	そこまで重要度が高くないのかなと思っていたんですが、今の話だと、その岩石化するしないと他の非線形性だとか、岩盤物性だとかに、
1:10:02	反映する事実が出てきそうだってすぐそういう段階だと。



1:10:07	はい。一言で言うとそういうことです。はい。
1:10:11	いや、
1:10:11	その辺はじゃあまず会合の資料でもちゃんとしてもらわないと言ってないのかで、何がどう変わるのかっていう話をしてもらって、
1:10:24	ちょっと、
1:10:25	数にホリグチアノすみませんちょっと我々のこの12月10、1月18番も本当に12グループ一色。
1:10:33	が、なぜこう含めて、うん。アウトプット、
1:10:37	を出すという話ですので先ほど浜崎さんの話もあったように、うん。
1:10:42	神様でできるところからやっていけば、話ですので少しそこは大分持ち帰って見直しましょう。
1:10:51	はい。はい。はい。議長。
1:10:53	規制庁開発後さっきのお答えにあった、それから非線形解析をまわしてっていうのは、どういう、何の話ですよと非線形のところでモチギすべき話として、
1:11:07	設計条件と非線形条件の応答の違いの比較っていうのを、この段階でお示しする必要がございます。それをやるためには、岩盤部分の分析が確定しなきゃいけないと。
1:11:21	その岩盤の物性値を確定するための追加調査を踏まえた分析を、確定のところでは、はい。遊佐です。中出もちょっとお話した方がいいと思う。
1:11:32	います。はい。
1:11:34	そう。自然系のやつをまた全建屋流し直すんだったら、原水だってまた全部やり直さなきゃいけないし、何か岩石はやると、何かまるでアノズ、
1:11:47	ボスみたいな感じで戻っちゃうみたいですけど、別に今あるデータをそのまま使ってるんじゃないのって気はしますんで、その岩石、
1:11:58	のデータを、仮に反映するとして非線形性がどこまでこうなんか、
1:12:05	変わるのか。
1:12:06	もう検討の目的に対しても何か違うような気がするんで、
1:12:10	そのあたり、もう少しちょっと話をして整理をしてもらえば、
1:12:15	ちょっと今私、あまり正確にお話できていないと思いますちょっとす。
1:12:20	イセ。
1:12:24	すみません日本原燃のオガセでよろしいですか。はい。持ち帰ってちゃんとスケジューリング、ちゃんとできてないんでそこをもってえさちゃんと次回ちゃんと。
1:12:36	いうことでした。

1:12:38	はい。規制庁水間いずれにしろタスクをちゃんと明確にしてこれをいつまでにやってくれればいいわけですね。ちなみにすいませんちょっとこの話が出たんで、1月の審査会合の、
1:12:48	目安みたいな日程、何か考えがおありでしたらちょっと教えて1月のつていうとちょっと言いづらいんですけど、わかりますよね。
1:13:05	12月が18日。
1:13:08	ー。
1:13:10	いうことで概ねひと月間隔でということで、
1:13:15	行っているところからしつつ、年末年始も挟めてということで、一応時間としては29、
1:13:25	を候補としつつ、
1:13:28	よく、2月5日、
1:13:32	が時間がとれるかなあと。
1:13:34	いう感じになってて、
1:13:36	無理して29人やる必要もないかなというふうには思っては、
1:13:45	でき、できる状況でやりたいというならんですけど、
1:13:50	はい、ご検討いただければ。
1:14:00	大丈夫ですね。
1:14:04	あと、一番最後についてスケジュールなんですけど、イマダ、
1:14:11	先ほどあった代表とかの話を担当する。
1:14:17	いろいろですね、21日と26日に、
1:14:21	2日違い、見方が入って、
1:14:27	どちらかを、先ほどの代表名で15時はいいながら26、定着するか何か年内に何となく道筋をつけたいので、どちらかを代表の説明のヒアリングにあてると。
1:14:41	工夫をさせていただいて、
1:14:43	はい。
1:14:47	あとは、はい。
1:14:50	先ほどの話で全体ちょっと見直しをしました。
1:14:53	あとは、
1:14:55	来週以降でいくと、
1:14:57	DSが間に、
1:15:03	はい、特別
1:15:06	21か26で代表って言われましたけど、
1:15:10	前の20日2水なんかもあって、
1:15:16	DBの資料提出であれ、タテモリノ資料ですタテとかっていうので、その中でも代表っていう話だったと思うんで、

1:15:28	だから竜巻がここにあるんですっていうあればそうかもしれないですけど、
1:15:33	何ですかね、考え方は早くやって、はい。
1:15:37	オカない。
1:15:38	はい。結局これ、これが全部バラバラに出てるのもやっぱりおかしいのでは、あれですよ。そこも含めて、
1:15:45	来週以降の組み合わせを考えてですね、冒頭申し上げたように竜巻だけでこれ代表出しても意味がないので、そこも含めて組み直しをしたいと。その中で、
1:15:56	どういう日付の感覚でいっかっていうところを考えていこうと思ってますはい。その中の一つのアイテムとして先ほどの 20、
1:16:07	はい。
1:16:09	はい、そうです。で、衛藤一成は何をやりたいたいでしたっけ、さっきもアノヤマグチから聞いたと思いますけど、
1:16:18	はい、植野高井でございます。現時点ではそうですね、11月30日の個別説明とレビュー、設計項目の整理だと思っていましたが、
1:16:28	その代表の説明が、
1:16:33	について、ちょっとアノイシハラ。
1:16:39	ちょコサクです。
1:16:43	溢水ワー
1:16:46	前回溢水の資料じゃなくて、進め方の資料ですけど何か別途出されて、
1:16:54	論点が、ちゃんと拾えないねみたいな話ですよ設計項目の整理の中で、
1:17:00	個別のやつが入ってて論点がちゃんと書いてないって明確じゃないっていうと、論点がずれてるものがあるよねっていう話になったところですよ。
1:17:09	はい。物でそれが今日のこの資料になって、
1:17:15	結局どうするつもりっていうのがよくわかんない。20日のヒアリングで何をご説明するかっていうところの交通整理で、もともと11月30日の時にSAがあったりですね、資料3に関する資料に関する、
1:17:31	全然整理できずにですねお出ししてしまったというのがありましたので、まずは交通整理をした上で、14日提出、20日のヒアリングに向けて、
1:17:41	本日、交通整理をさせていただいたというのが、今日の資料。
1:17:45	うん。
1:17:54	今日のこの資料見て14日の資料ってどうなるのかっていうビジョンがちょっとわかんなかったんで、
1:18:01	前回のも唐突な資料だったこともありですね。

1:18:06	こういうふうに進めていくんだなっていうのがわからなかったから、ちょっとあれだったんですけど、どう。
1:18:12	大丈夫。
1:18:14	山内です。前回米、
1:18:17	論戦的な資料をつけられて、
1:18:20	その説明の、
1:18:23	会沢さんを回られてないかということで、今回付けられた資料で、論点とこういうのを説明しますっていうのが挙げられてるのでそれを前の資料になります。
1:18:35	資料の中でも説明拡充されるのかなっていうイメージでは、
1:18:42	いや昨日それで言うと、
1:18:46	前回はこの今日の別添2のような形ではなく、
1:18:52	今1-11の日の佐伯の4点なってますけど、
1:18:56	主に論点のところのさらにアライのが、
1:19:02	入っていて、これ、この4項目って何なのっていう感じだったところを、個別項目っていうところで設備の選定なのか、
1:19:12	1水源なのか、っていうことの割り振りをしてきたと。
1:19:17	ということで、次の段階、
1:19:20	次回提出してやる場合には、
1:19:26	等
1:19:28	説明項目の抽出IIなんで、
1:19:33	基本設計方針が並んでいて、項目分けされていて、
1:19:39	そのの、
1:19:40	どこの部分に関連するのかっていう紐付けをして、
1:19:43	その方針っていうところを、より詳述。
1:19:47	そして、先ほども設計方針ちゃんと整理してくださいねっていう話があったように、
1:19:52	それを表の中だけだと、伸びきれないので、
1:19:57	別紙の形にしてしっかりと述べて、だからこういうふうにし、対応していきたいと。資料3では資料4で、コウと
1:20:05	いうなことを行っていく形で
1:20:08	ここに、
1:20:09	この、この表じゃなくて、これを一行ずつ、
1:20:12	1枚にして作っていくっていう感じでいいですかね。
1:20:17	はい。人間のためでも、はい。おっしゃっていただいた通りでございます。その中でですね許可からの整合っていうところとかですね、ていうと

	ころは補足をそこに加えて、さしていただくという形でさしていただこうと。
1:20:33	はい、古作です。わかりました。
1:20:39	はい。
1:20:42	あれ。
1:20:43	ミヨシ新田技師では、薬品、
1:20:46	逆に言ってTVの接近項目の整理のある資料ってそんなにちゃんと前回まで聞かなかったんですけど、じゃなくて、
1:20:56	タンクローリーの話とかもあったと思うんですけども、
1:21:00	この14日では薬品の設計項目の整理の資料も、
1:21:05	入っていただいて、
1:21:12	はい、日本原燃の高谷でございます。今現時点で思ってるのは本文でもですね、この個別の論点と挙げていないものも何個かありましてですね、その中で薬品の担当通りについて、
1:21:26	基本設計方針のどこで整理してるかっていうところは明記しようかなというふうに考えております。
1:21:33	同じです。役員についても、
1:21:44	20日ウラマツ5です。
1:21:46	日程調整させていただいたんですが、事務的に、
1:21:51	すいません。
1:21:55	資料で規制庁側から確認をお願いします。
1:22:04	は特にやっていいでしょうか。
1:22:10	会合資料、
1:22:16	地震からやって、
1:22:21	いいですか、ちょっと短期間、
1:23:17	っすね。
1:23:19	受け取ったんですけど、
1:23:20	まず対象からはやられるんですけど、ちょっと、
1:23:24	何かあと5分ぐらい。
1:23:26	先にざっと説明していただいて、
1:23:29	はい。
1:23:31	いたしました。衛藤。
1:23:34	移動していただいたところを、
1:23:37	コメントも、
1:23:39	今回、プルセンター
1:23:40	置いてますので前段のところの本表の整理とかそういうところをつけさせていただいて、

1:23:46	導入とそれから追加調査、こういう形で進んでますというのを7ページ
1:23:52	でございます。8ページ目からでございますけれどもまずデータのです。
1:23:58	最終についての全体像これ、もともとのものをご覧いただきまして、救急医目からですね、まずそのデータの取得及び信頼性の確認についての英語システムをやり切ってしまうと。
1:24:12	ということで、9ページは代決でございまして、10ページ目から、それぞれのですねその試験につきましてのデータの信頼性の確保、それから取得したデータがこういうものであるということのを並べる形になります。
1:24:26	9ページ目にちょっと戻っていただきまして、ここ大事ですので少しちょっとご説明しておきたいのが、それぞれのですね地盤モデルを決めるにあたっての、
1:24:37	因子を横軸には並べておるわけでございますけれども、それぞれについてどの試験でのデータを用いるかということの紐付けを、この取得データの欄に
1:24:50	ございまして、ここのA-1とかB-1とか書いてますけれども、ちょっとこれですねそれぞれのどの、アドレス温度データについての説明であるかというのが後でちょっとわかりにくくなりますんでここでアノordイつけておいて、
1:25:04	どこに対応するかがわかるような形にしようという意図のものでございます。
1:25:09	で、それぞれのですね試験につきまして、例えばPS検層がマンホールオフィス現象であれば、血液でAイデここで信頼性の確保の話と取得した経過がこんなことであると。
1:25:20	いったような記載をずっとしていくといったような形で、まとめるというところでございます。
1:25:27	で、都市圏の
1:25:29	ヒライ店についてのご説明が18ページまでございまして、19ページ目からですね、これはそのとったデータに対して、
1:25:40	組織の適用範囲がかかる検討ということで、ここの前段までとったデータがですね、それぞれ形成する建物グループを置いた上でそのグループのどこに適用されるというデータになるかという今度はグループとの紐づけを、
1:25:58	明快に明示するといったような意図での整備でございましてこれ19ページ、20ページのところで、20ページちょっとまだ書ききれてないんですけれども、縦軸にずっと記述建具グループが流れていってどのデータをどこの、

1:26:13	グループで使っているかと、いうことがわかるような、コイケを付けというのをこうしようとしてございます。
1:26:22	で、この1ページ目からがその個別のですね、
1:26:26	不調を形態でございまして、ここではですね、岩盤部分のピーク計数及び削減ソウノところが21ページには、ございますけどもこれグループについての検討をザ例として記載しているものでございます。同様の検討を他の市場についていくと。
1:26:44	いったようなことを書いてるんですけども、ここがですね、1元グループでの応答を、分析を書いてございまして、
1:26:54	次のですね、23ページ目で、3軸圧縮試験それから、地震観測記録及び上位の記録ということでこれはをですね、ちょっと梅津に対しての、
1:27:08	適用性と、減衰のニイズのためにとったデータに対しての適用性といったような観点での整理をしていっている。
1:27:16	24ページは調査についてということでこういうふうな整理をしていくということでございまして25ページ目からが、そこまで紐付けたデータを用いた場合のその分析の
1:27:29	シートになってございます。これも25ページ、26ページで、時代テストを記載いたしまして、そのですね、1例といたしまして、
1:27:38	27ページから、Aグループの座間部分の分析ですと、Aブロックの例、それから24の例といったようなところを、
1:27:49	が28ページですね、といった形で、江藤を記載しようというふうに考えてございます。
1:27:55	そういう形で、自然形成減衰連携性については29億円で、30ページ目からが減衰定数で、減衰定数は関連するデータがですね、追加検討ですとかこれまでやってきたことを、
1:28:09	含めてちょっとかなりございますので、これは30ページのところで、それぞれのデータにつきまして、着目周期停滞種着目周期対職域考慮する地震の振幅レベルというそういう
1:28:23	着眼点に応じた考え方というのをオダスズキササキでございます。
1:28:29	で、このですね、それぞれの地震観測から獲られた記録ですとか、
1:28:37	江藤核データのすみません、各出たの物理的な人間の分析といったところを33ページに記載してございまして、このですね、
1:28:48	当分析の着眼点ですね104点が33ページ34ページまとめり、まとめておりまして、考慮する地震動の振幅レベルを踏まえた分析
1:28:58	それから、34ページで、周波数特性を踏まえた減衰定数の生後散乱減衰を、また3材料減衰についての分析、

1:29:07	それから多分データ取得意見を踏まえたモデルというこういう着眼点を です、これ専門家の方との協議でこういう着眼点だねというところをま とめたものに、
1:29:18	それぞれ沿った形での分析を超えた形にしていくというところでございま す。
1:29:23	35 ページが、これが表層のところでございます今ちょっとまだこれは追 加調査のデータが入っていないといったようなところになってございま す。
1:29:34	で、36 ページ 37 ページのところここで、ここで、データ分析を毎年基準 地盤と部長とらえた地下構造と言う事でas-isもですね、
1:29:46	ある意味、これ考え方の結論的なところをまとめるといったような形にし てございまして 38 ページで、議会会合での説明内容ということで今後、 今ご説明できていないと、活用されてきたについてご説明するということ と、
1:30:04	それから、検垣伴の特徴をとらえた企画構造の整理結果を踏まえて基 本のモデルを設定した結果を示すといったようなところを記載してござい ます。
1:30:17	で、ここまでですね、先ほどデータなんかは、代表的なものを、パワーポ イントをつけますけれども、
1:30:28	この後にですね、このPS検査法におけるJIS90 及びPS検査結果です とか、コウノDたですね、オオノのデータを後ろに、データ集といいます か添付の形で付けるということで今 3 月でございます。
1:30:43	衛藤。
1:30:45	走りましてけど説明以上でございます。
1:30:51	議長。
1:30:53	2 小村大井でしょうね。
1:30:55	セガワですけども、
1:30:58	まず、ベーターの信頼性っていうところの、
1:31:05	部分は中身はちょっと別として、雰囲気的には
1:31:09	こんな感じかなと。
1:31:11	思っていて、ちょっと、
1:31:14	1 ページはやった方がいい。
1:31:18	ていう。
1:31:19	もうちょっと頭の方、飛ばして、
1:31:24	9 ページは、こんな感じで、
1:31:27	この 9 ページのデータの信頼性っていうところが、
1:31:32	何かこれは概要が示されてるの。



1:31:35	9 ページの方は、多分概要なのか。
1:31:39	主な点なのか何なのか。はい。多分、後ろとの関係で後ろがあれなんですよ。うん。で、この箱ごとに、
1:31:49	なりで、はい。
1:31:51	示していくんだよね。だからここ、これがこういうふうになってるってことは、これがタイトルな、ここの部分のどれかがタイトルになるわけですよ。
1:32:01	うん。はい。その信頼性の中のPS検層なんですよ。
1:32:07	でもこれだよね。多分、これがタイトルなんです。はい。試験の名前がタイトルになってきます。はい。
1:32:13	ていうところで、それはそれで、よく、
1:32:18	大体よくて、はい。
1:32:19	そうするとこの辺までいいんだよね。
1:32:22	18 ページまでそれ本まとめてもらえばいいのでこれ、そんなに大きなあれはないですよ。
1:32:29	19 ページは、今度は、
1:32:34	信頼性があるものが確認できれば、それをどこに使っていきますっていうものなんで大事なものは、この周辺って書いてある。
1:32:45	この箱の中が大事で、この後、前はもういらんんじゃないのと。
1:32:52	はい。
1:32:54	データの適用地点の考え方も概要みたいなんだけど、
1:33:00	概要がうまく入るんだったらそれでいいけれども、はい。
1:33:05	結論としてね取得データはもうね、企業も追加もないわけですよ。なるほど。だから、ここの欄をきつく必要だし、
1:33:15	はい。取得データの欄は不必要だよ。
1:33:19	次、前に説明するのもだってもう企業も追加もなくて、データ全体が一つになってるわけだから、そっから抜いてくるわけですよ。はい。
1:33:29	なので重要なのは周辺でこれがずっと続いていくと。はい。
1:33:35	ということになりますよねと。
1:33:37	そこをもう、
1:33:39	ここも大体いいんだけど、ここはちゃんと書かれた方がいいよね。
1:33:43	米州のこの同左とかって、どれが左なんかよくわかんない。左右差とかちょっとこういうところあるんですね。動作がなくて、永井ちゃんとか、そうすると次に、
1:33:55	今度はこっからが全然血イメージが違っていて、21 ページからが少し違ってきて、
1:34:02	ここはそういう意味では、この適用の、

1:34:06	適切性について説明するわけだから、周辺とかで1括りになるわけですよ。
1:34:14	そうですね。はい。でも、周辺に対して、
1:34:20	A-1とか書いてある、この全部のやつが、はい。
1:34:25	こいつらが何で、うん。
1:34:27	ここに適用したんだっていう理由の説明が、この箱ごとにされていくわけですよ。うん。
1:34:33	そうですねはい。
1:34:34	でも、
1:34:35	これがだから、こっからは、はい。
1:34:39	何だよね。
1:34:41	そうですねその値と考えるとこのA-って書いてあって、ちょっとそこわかりにくいこれすいません。うん。うん。だからこれもう2ポツがおかしくて、データの取得及び信頼性の確認じゃないんだよね。
1:34:55	これデータの適用性だ。
1:34:57	なんだよね。はい。その部分の、今度はAについて、
1:35:03	についてっていうのが大きいタイトルで、Aについてのが坂岩盤部布施。
1:35:11	部分の物性とかってなるわけでしょ。うん。そうですね。はい。ていうふうに、こいつが次は今度Bの話で、
1:35:19	Cの話で弟子はそれぞれ、
1:35:25	この欄ごとだから、はい。
1:35:27	ていうふうにしていけば、
1:35:30	けど、ここに何か考察みたいなの加わっちゃってんだよね。
1:35:36	谷データの適用性だから、すぐかなりシンプルになると思うんだ。
1:35:41	要するに、直下だから、
1:35:44	直下、ないしは周辺へのものをやってますだからそういうものすごいそれぐらいしかないよね。
1:35:52	そこ、今21ページでルール書いているのは、
1:35:56	この
1:35:57	金城のものは集めてきたけれども、こいつらの文字数強度なんかを見たときに、こいつらを1グループで、
1:36:08	見て良いというそういう1グループに変えたことの根拠を書いたつもの、これはまとめになっちゃってます。
1:36:16	うん。
1:36:16	それはもう、もう1個あともう1個後の段階でいいんだという金城を集めてきましたただでここはシマした方がいいんじゃないかと思うんでもとも

	とちょっと地下使いますだから、直下にイレギュラーがあったりするのはむしろデータの分析なんだよね。うん。
1:36:36	ここは多分シンプルぐらいで、それで、
1:36:40	衛藤。
1:36:42	1回それでデータの適用だけで終わって今度、次に大きな話として、それらを、その適用がこれでいいよねと、直下使ってるし、
1:36:53	ね、これでいいよねみたいになったとしたら次は今度データの分析で、
1:36:58	入っていくわけですがはい。
1:37:00	分析もさっきのこの
1:37:03	ここの箱ごとに、
1:37:05	分析していく。
1:37:07	見ますと、
1:37:10	ていう、今そういうふうにはなっていないんでこっから先はね。
1:37:13	藤っす。
1:37:16	はい。
1:37:17	大体おっしゃっていただいているの。
1:37:20	と同じ認識ではあるんですけどもちょっとそういうふうに見えない。タイトルとかがわかりにくくなってから、まずは適用に適用して、
1:37:31	適応だけで終わらして、次にまたその箱ごとの分析が入って、
1:37:37	うん。
1:37:37	はい。
1:37:38	時々、28ページなんかだと、C-14の話が出て、
1:37:44	はい。あるんで一旦そのAとして一気に通貫で流れを説明して、この辺の履歴ダムはまた後で構成の方が見やすいですよということです。
1:37:55	なぜならそれで分析があると、もうここは1個しかないね。ここに対してこれがあるから、その分析と、その結果っていうのが一緒になる。
1:38:08	だから、こいつを分析した結果、この岩盤、
1:38:12	部分の物性は、こうこうですよっていうまとめみて、まず、要は結論があるわけですよ。
1:38:21	で、ただし、Cの部分になると、各々の分析っていうのがあって。うん。3軸圧縮自治権コアの試験という、常時Bっていうのが1個1個されて、
1:38:33	これからまた総合的に見て、
1:38:36	岩盤部分の減衰というのは、効果なんていうのは、結局、分析と考察だよ。全体がね、結局考察したまとめみたいなのができるわけだけど、
1:38:48	それが分析の部分で来ればいいわけですよ。
1:38:52	はい。はい。はい。でしょ。

1:38:55	ていう、いうふうにしてもらいたい。はい。はい。で、最後に、今度はその分析の結果として、最終的にこの四つが、
1:39:05	全部確定してくるじゃないですか。そうするとね、as-isの、
1:39:10	JAの周辺の農地直下っていうのは、こんな、はい。
1:39:16	イメージになりますっていうのが、こういう地価構造と、うん。それが批評っていうか、固相マツダとか、岩種だとか、いろんな
1:39:27	要はさっきの分析のまとめが、そこに一括して版が入ってくると、そんなイメージだよ。はい。
1:39:37	ちょっとよろしいですか。そうするとですね我々ちょっと考え、我々どうでもいいんだよね。そうやってまとめて欲しい。ちょっと。いやだから我々はそういう目で見るとええ、そうやってまとめて欲しいのよ。
1:39:51	はい。磯相馬と理解しました。
1:39:53	いえ、今走らすんですけども、他のウエダ掛ける12だよ。
1:40:00	次回会合にかける12の、
1:40:02	だからそれがね、次回今度の会合では、どこまでが示せるんですかっていうのは、また別問題なんだけど、
1:40:12	少なくともそういうまとめ方をして欲しいっていうそのas-isの部分までね、こいつが全部中にそろって、
1:40:21	はい。でいい。はい。
1:40:22	だから別にだけでも、今回しょうがねえとか、うん。
1:40:27	いろいろパターンだと思う。自由にやってしまうパターンもあれば、うん。でも本来はそこまで欲しいよね。
1:40:38	今、考えなくてもは悪いんは、結論簡単、我々が見やすいように、はい。こうまとめて欲しいなという要望を出してる。はい。要望が聞けないんだったらそれはできない。我々の見方として、
1:40:58	確認して、ここに拾ってみます。今すいません我々こうやりたいなと思ってるのは、今おっしゃっていただいた通り周辺についての分析コイケツガネずっと書くんですけども、
1:41:09	それに対してこれが事実ですけどもそれぞれのグループのところはどういう在り様になってるかっていうのをこれ全部埋めて参りますんでコウと差分が、これにありますねこれになりません。見つけて、差分って何だろう。
1:41:22	ここの分析とは、例えばこのA周辺であれば、そういう許可に断層がない、いいものなんだけども、あの時重要になった境界断層があって、その影響か、検討しないといけないという追加のものが生じるので、
1:41:37	その時間所の主任はここだよっていうのをこうマッピングしてやって、それ、まずそのシートは多分一緒にまず、はい。

1:41:47	あとはその差分を下げることになるのって感じがしてみたら、全部一緒なんでほとんど一緒に、ほとんどこれは金戸さんで今ここに書いてあるように言って、結果じゃなくて、こんなことやりますみたいな自分の話だった。
1:42:03	中元さん。よくわかんないんだけど、差分っていうのは関係ないんだよね。うん。うん。
1:42:09	いや、だから 12 行。うん。個別なんだよもう、うん。
1:42:15	はい。はい。
1:42:19	ちょっとわからんと何か別の場所っていうのは、もう相関なんかはないんだよ。うん。ある意味でそうやって考えればいいの。
1:42:29	で、代表的な論点のところだけをイシイにしていると。あれしてくださいよ。いやあなたたちは建物が 1 個の人だけではいいんだけど、あなたたち × 何十分もあるわけだね。
1:42:45	だからその辺のビルを全部やるのに、もうねみんなね 1 個ずつやるのよ。
1:42:50	だからすごいシンプルなこと言ってんの。ここ簡単なのよ。
1:42:54	うん。ね。
1:42:56	いやだからもう独立した場所なの。うん。ね。そこはもうエレベーターも独立させるわけですよ。はい。
1:43:03	ね。
1:43:04	うん。うん。
1:43:06	ポイントは我々に保たせていただいているのは、今回の会合で家田家示すのか。うん。西ヒガシで三つぐらい示すのか、すべて渋川我々参与に応じてですと、そういったところだとそういうことです。
1:43:21	それがササキホソノハバサキさんが言うたら、全部示すんですか、できてるんですかと、実力に応じたことをしてくださいねと。かつ、審査の時間というのも入りますと、
1:43:32	全部中に見せて、はいこれで終わりですって、審査会合で一般で勝負できるんですかといったことだと認識しましたので、出し方を出す物流をちょっと考えてくださいね。
1:43:44	結局一部はね、抜けになっちゃうところあるよねまだデータ取ってないから、そこは別にそういった、ここは抜けですよっていうことでもいいとか、1 個ということはないんだと思うんですけどなんか出したとは思ってるんですけども、すべて出してそれが、
1:44:01	今回の審査会合の中で、全部変えるかちょっとそこは正則な感じもして少なくともまず A の部分をちゃんと一気通貫して、形をまず作ったやつを提示してもらって、

1:44:14	組織から、それから掲げる幾つやった方がいいと思いますけど1週間しかないけどね。
1:44:20	ちょっとどんだけ、したら審査会合ですね審査していただいた分はそれなりに入ってるんだけど、あとはセイリガクっていうか、そうするとね、この部分はいいいよねとか、
1:44:32	この部分はいいいよねってすごいわかりやすいのね、今どこまで良いのかどの部分が良いのかって、ちゃんとねプロセスごとにちゃんと手順を打ってあるわけだから、
1:44:43	ダノンさん自分の考えはしてもらって僕らにが説明を受けたときに、
1:44:50	わかりやすい形にしてもらいたいってうだけなんですよ。はい。ちょっと頭の中に全部見せなきゃいけないというふうに全部もちろん今回、今回はだから別に、
1:45:02	基本はそういうことはい。
1:45:05	最後のだからまとめのイメージは1枚に入るのかわかんないけど、地質の構造があって、それを表みたいに、ちょっと今サンプルあるのかな。なるほど。
1:45:18	多分これまでも出して、ちょっと表と図の間の子みたいなやつがあったりして多分非線形入ると。
1:45:26	ウノの場所ごとに、
1:45:29	少し、
1:45:30	データを別途作るかもしれない。
1:45:34	まとめる。
1:45:37	ちょっとイメージがわかんない。
1:45:39	今日、
1:45:42	小困難が出てくるヤタコガで決めたらこういう。
1:45:47	こういう、
1:45:48	システムを、
1:45:49	規制庁からそうそう地図を
1:45:52	モデルの調査を待つと。はい。はい。一井。
1:45:58	はい。茂呂さん。はい。
1:46:02	そこにちゃんとよ。
1:46:04	だから、我々、すいません、10人を1枚、あんまり変な考えを持ってるので、じゃなくて、AAだけで一番になると、そうです。それが12万さFinalヒライ12と12.3ですか。はい。うん。
1:46:19	うん。そう。だから頭のね、データの信頼性と、どこの、どの時点に適用っていうところかな。きよ右京幾つ。
1:46:31	どれだっけ。

1:46:34	この表までかな。はい。この表までは共通する共通になるじゃない。ここまでこの表まで共通になって、こっから先、まずAIについてっていうのが、全体の話で、
1:46:48	Aの適用性と次に分析と、考察があつてそしてまとめとして、うんっていうふうにしてそれを何行できるかは我々の能力戦争。
1:47:01	明日また来ちゃうっていうのが全体の我々がコウをしてる。
1:47:07	その説明の、
1:47:09	仕方っていうか整理の仕方、
1:47:12	規制庁の土岐ですけど、ですね、まとめで、先ほど言われた柱状図があつてここにアノ部制の部分、カサオカ、それはまだ、であつてもまだできてないんで、そこがツジという、
1:47:24	今回はな。
1:47:26	そうですねはい。はい。平均化して別に出せる出せるんじゃない。一応一部は、今後また見直しがあるかもしれないけども、現状のデータだけ見ると、一応は見せるんじゃない。
1:47:41	今おっしゃってるのが、その速度構造の平均機を出すっていうことだと今、アイデア、今手元にまだないんですね。
1:47:52	それを上にミツイ、
1:47:54	では次なるよねって今浜崎さんはおっしゃってるんだけど、我々それぞれずつあれねいいだけでも、今から作るのかちょっとそういう話にはなるんだと思うんですけど、あそこはだからついに、多分何もできてないっていうことは、
1:48:06	まだ公正な分析と考察が終わってない。
1:48:10	いや分析と考察Ⅱが終わってもその平均物性値カッチの言っているのは、
1:48:19	ある程度ねもう源泉もこれぐらいで決まるでしょってさ、そういう速度構造だって、もう期でしょこんだけデータあるんだったら、岩石試験でもしかしたら変わっちゃうかもしれないけど、今現段階でも大体できるじゃないですかと思って、話をしているので、
1:48:35	全然できませんって言われちゃうと、あれっていうことと、大体これぐらいの値になりますというところまで分析になるんじゃないのそれがまとめなんじゃないのと思って話をして、
1:48:45	今の資料はこんなことやりますだけでも止まってるから、ちょっとそこギャップがある。
1:48:51	はい。

1:48:53	そういう意味ではその速度構造のファイナルアンサーとしてのデジタル値が今持っていない、持っていないというのは平均化。それぞれのコアの試験の結果はあるけれども、
1:49:04	いや、いや、だから何も、
1:49:07	結果導けるような状態にないんだね。
1:49:13	今後の試験で、ここは公開な数字でね、わかるけども今あるところで、
1:49:21	決まるところもある。決まる決まら決まらんけども、だってここまでできてさ、これだって21ページの速度です。これかけてる時点で、これただ表示するだけじゃないすか。今日、そうなったら分かるそうです。
1:49:34	何でそない、不思議でならないところこれはあれですね。
1:49:40	江崎麻生はPS検層の結果末田美術件数の結果しか使わないじゃん。でもこれだったら並べますなんていうことができます。いや、何を言ってるかわかんないんだけど。
1:49:52	平均、さっき言ったのは、このデータはね。
1:49:56	これ単純に、
1:49:59	いえ、後段部分っていうのはこのデータしか使わないわけだよね。そうですねこのデータはこれなんですよ。そうですね。だったらこれ決定してるじゃん。そうです。ただ、決定してないのはこういう部分は少しね、歯抜けになってるからこの部分はこのデータが足りない状態で、はい。
1:50:16	できちゃうかもしれないということなんですねはいはい。
1:50:20	なんだけどこのデータはもうできてるんですよ、だってこれ分析して中央値なんか平均で、はい。鳥栖平均に、このぐらいのばらついてますとかっていうのは、もうわかってるんでしょう。
1:50:33	それが、その平均化の処理自体が、来てないですねできたんです。
1:50:43	はい。
1:50:44	何やってたん。
1:50:46	まあまあいいけどさ。
1:50:48	ここ、これは
1:50:50	ようやくこれが出揃ってきたところなので、
1:50:55	はい。
1:50:57	いやだから相当遅れてるってことね。
1:51:02	はい。見せ方のイメージでもいい。はい。
1:51:06	ちょっと持ち帰って最後のまとめのイメージでもいいイメージは。うん。そこは、要するに共通認識を持たないと思っていない10×10にやらなきゃいけないから。うん。
1:51:18	これ見するとまたねミス理想じゃないですか。
1:51:22	ね。



1:51:23	だから、ね。
1:51:25	イメージは欲しい。だからそれはね、店のデータでいいわけですよ。うん。
1:51:31	※を打って、今後は、
1:51:34	今後の追加試験の分が全然店のデータでいいよ。はい。0っていうイメージはちょっとイメージは。
1:51:40	大星。はい。うん。うん。それだからさもうさ。
1:51:46	もできないってことよ。
1:51:48	ちょっとだけでも、ちょっと大変だから、検討したわけだから、そこは浜崎さん、我々の実力でできるところまでで、今回はイシイです。はい。
1:52:00	はい。
1:52:01	はい。
1:52:02	理解しました。
1:52:04	今回はもうそこまでしか無理で、
1:52:07	うん。
1:52:09	多分、中には行かないからCさんを審査を考えると中にはいかないなという理解します。だからそういう意味では議論は議論できる範囲は決めておくとする、
1:52:19	Dたがこんだけ取れました。データの信頼性はこうですねとか議論できて、それから、このデータをここに適用しますぐらいでその理由はこうだからまあいいよね。
1:52:31	何か駄目なのかっていう、そのぐらいまでだね。
1:52:35	もう1回、
1:52:36	そして、その次からは、各エリアごとに、こんなふうにとまとめていきます。
1:52:45	ていう、そこはまとめ方のとか、
1:52:49	説明の仕方のコンセンサス呉ぐらいたね。
1:52:53	それがいいですね。うん。
1:52:57	すいません、もう1回しますけど、これ、あれですか、追加Dたを入れたものがない。
1:53:04	ユキオオノデータだけだとできてるんで、お客さんだけだったらできるんだけど、赤はもう、
1:53:10	幕府含めた、
1:53:13	平均カーがまだ出せるサカタツアーはできてます。オレンジ足したやつができてね。
1:53:22	追加で言うたらこれ赤尾対今回追加ちゃうよね。
1:53:26	モチギyour野瀬あ、
1:53:30	記号データだけなら、

1:53:32	去年、麻生宗
1:53:34	それだ。
1:53:39	あれも含めた、平均化処理した。
1:53:48	だから、
1:53:49	ちょっと
1:53:50	全部プロットしてるだけなんです、生データなんです。これ日本しなきゃいけない
1:53:57	黒だけを1本にしているデータを挙げたけど、赤青、青だけの種類とあるんだけど、青と赤を1本にするっていうのはまだやってんだけど、ちょっとご存知の通り、それぞれの層厚での平均がとってまたその層厚をですねその想像境界を決めていくっていう解析をしていかないといけないので、
1:54:15	ちょっとそれがまだできてないっていうことですよ、なきゃいけないっていう。思いますから、何かそんなに変わる。ただ無理やり入れなきゃいけない。まだ結局分析が終わってないってことなんだよ。
1:54:27	そういう意味では、入ってきたっていうところまでのところは認識が違うので、まだ考えてそこはね、まだ出せる範囲でいいですよ。しょうがないからね。
1:54:38	うん。
1:54:40	だからそこはちょっと、だけでも、これ出せたらある程度こういう道筋だねというのがお示しできるんでちょっとそれできないか考えたいと思います。
1:54:50	うんだからそれはそれ次第。はい。
1:54:53	どうぞ。
1:54:55	基本はそういうことで、はい。
1:54:58	ちょっと数字の話はそれはつまり、
1:55:07	信頼性のところまではよくて、的を次に提起をして説明して、できる、できる範囲ですけどもとりあえず一つの分析、
1:55:17	アウトプットまで見せるように、まずは営業でどれだけできるかは元の作業の適用っていうのはそんなに我々難しい。
1:55:27	説明をしろとは言っていない。直下僕の話ですのでもともとだって直下近傍のデータを使いましたから設備の減衰みたいな広域のやつのところは、
1:55:38	それなりに説明してもらっていう、
1:55:42	はい、わかりました。資料のまとめ方
1:55:45	ネタがないわけじゃないので
1:55:47	組み替えとかやって、次回またお示したいと思います。

1:55:54	細かいところがない。
1:55:56	もうイイダイマダ終わってない。うん。じゃ終わりニシオカじゃなくて、次の項目がまだそこまでだから。うん。はい。
1:56:04	あれでしょ、構造の方でしょうね。
1:56:06	これ終わりですよ。すみません。大震災後、39 ページに書いてある資料集ってというのが、何か、
1:56:15	何これ何ページぐらい作る。
1:56:16	いや、小令和ちょっと変わります。すみません我々、何とか住民を何なんか何とでもために作業をしますっていうのを僕書いてますので、
1:56:26	これがだけなのか、三つ四つなら、以外のやつは資料集で、
1:56:32	香月コガ桑野生データのもの結構ございます。いずれシマダねえでしか示す。
1:56:40	リルートまずでしょ。はい。それとそうは言っても次 14 みたいに工夫な話をしたいところがあるんだけどそれはそれで見せ方をまたちょっと一体追加してですね、また
1:56:51	お話、
1:56:52	ということで、はい。
1:56:54	データのとったデータのやつを作るっていうのが大事だと思います。
1:56:59	考察なんかは全部つかないと思いますので、
1:57:03	はい。
1:57:04	はい。
1:57:04	また元、
1:57:06	また協議させてください。
1:57:08	すみません。日付なんですけど、構成見てるんですけど、全体の 68 ページっていうのが、見だしが対応全体計画っていう、
1:57:16	うん。
1:57:22	これまでに
1:57:24	の説明の内容、9 ページからの役割で始まる。
1:57:29	説明の骨子の説明が、
1:57:32	どっかやった方が、今回の内容を理解しやすいんじゃないか。
1:57:38	と言われてましたけども、今回の説明っていうのはまだデータの取得とか信頼性の方で、その次適用範囲、
1:57:47	うん。
1:57:48	分析があって、今回はその 1 年、
1:57:53	ん。
1:57:55	示して、内野さん、ごめんなさい。時間も押してるからさ、同じこと言うのはやめようよ。

1:58:02	今の現状だと 6 ページに今回の説明って、
1:58:06	と書いてあって、だけどそれが今の話のように、ちゃんと書けてないから、
1:58:11	次の資料以降どういう構成になってんのかわかりにくいつてさそれだけでしょ。はい。
1:58:16	本ページはちゃんと整理します。はい。わかりやすいようにということ。はい、承知しました。
1:58:25	院長山内です。最後資料配信部分よろしい。
1:58:30	ちょっとよろしければ、
1:58:35	はい。はい。
1:58:38	志田でございます。40 ページからになります。41 ページが、全体の構成、この後出てくるものの扱いの、
1:58:50	何を説明したいということを書いております。42 ページが、その中で、今回の説明内容ということのキーワードを示して、
1:59:01	いうことでございます。あと今後の説明ということの項目、ここは今後の説明は特に、すいません私の自転車周りじゃなくて、かなりもうちょっとちゃんと考えたいと思います。はい。
1:59:14	あと、どちらかという、今後直さなきゃいけないと思ってるポイントに絞って説明していきます。44 ページから説明グループの話があります。
1:59:26	この 44 ページが一番行だと思っていて前回の 10 月の会合でどういう指摘を受けてそれをどうとらまえて、それに対してどういうアクション起こして、45 ページ以降の変わった部分が何かということをつなげて多分説明しないといけないんですけど、
1:59:41	全く、すいません、停車回ってなくて、そこをそういう観点に直していきます。はい。
1:59:47	45 ページ以降は単純にそれが示せれば青字で変わってる部分が治りましたよということのキーワードでいけるかなと思っています。はい、古作です。それと 4 番もこの青字っていうことです。45 ページ以降のところは置いていこうと。
2:00:02	44 ページは昨日から結ん対処施設修正というのは、ここはクルーズで示します。はい。
2:00:09	はい、えっと、50、
2:00:13	6 ページからが、説明グループ最初の説明は、再処理廃棄物管理の説明グループ 1 の街構造設計等の状況になります。
2:00:24	これも直さないといけないと思っているのは 57 ページで、今回出したものっていうのをどう作り込んできたか。

2:00:32	3番目のポツで、現状野瀬アノ資料に対して不足点というのをちゃんとこれも網羅的にあげないといかんかなて次の課題につなげていけないといけないので、
2:00:43	ここをちゃんと書くということが重要だと思ってますので、その拡充していきたいと思ってます。その上で、58ページ以降に外傷関係のやつの特ピックスをつけたんですけどこれまだ、
2:00:56	単純にワダつけてるだけなんでどういう観点でこれを選んでるかというところがわかるように、見えない建物構築物の買い場関係の特ピックスつけてます。屋外の機器配管の特ピック付けてますみたいなことがわかるように、
2:01:10	していきたいと思います。イケダ伊奈何らかのグルーピングの話を書いて、
2:01:15	と思っているところでございます。
2:01:18	65ページに竜巻の話を、
2:01:24	2月3月の審査会合を付けたやりとりの話を踏まえて、修正をしてきたと。
2:01:31	いうことで書いてるんですけど、65ページももうちょっとこなれた感じにしないと何を言ってるのかよくわからんので、ちょっと整理をしていきます
2:01:39	単純には非侵入飛来物の侵入を許容するしないという話で、それ以降の挙動が全くわからんので、
2:01:49	そこに議論をするよりも、ちゃんと入ってこない、直接当たらないっていうことの前に入ってこないようにしましょうということが多分論点だと思ってます。
2:01:59	そういうポイントをちゃんと明確にするということと、66ページのがですねそれを示してるっていうつもりで書いてるんですけどそういうポイントがようわからんので、
2:02:09	これもちょっと工夫をしていきたいと思います。
2:02:12	単純にいけばこれ防護対象との位置関係もよくわかんないですし、入った後に、の挙動の話を前の方で、あまり考えてもしょうがないよねっていうんであれば、それをもともとどう考えたかっていう何かイメージもないと。
2:02:26	何を説明したいのかがよくわからんので、66ページの図もちょっと工夫が必要かなと思ってます。はい。
2:02:34	はい。あと、六十七、八はMOXになって、
2:02:41	最初の説明。
2:02:44	説明条文ごとですね、今後の説明グループの割付を書いているんですけど、これもですね。

2:02:50	説明グループ 1 の範囲しか今なくてですね、条文が全体が網羅できてないので今断り書きを、
2:02:56	右上、右上というか青いバーの下側にちょっと書いてますけど、
2:03:02	どこまでできるかちょっとお伺いをしながら考えていきたいと思っております。
2:03:07	はい。
2:03:09	あと 69 ページからが解析評価の話。これも、
2:03:16	今までの進め方でも説明してきた内容をバラバラ書いてますが、これもまず 70 ページのところ、11 月の審査会合で受けた指摘をどうとらえて、
2:03:28	そのやってきたアクションにどう繋がってるかはまだはっきり言ってないので、ここを拡充したいと思っておりますということと、
2:03:35	これをやった結果どういうことにつなげていくつもりなのかっていう、今後の進め方というか、考え方みたいなものないので、
2:03:45	その全体の流れをちゃんと 70 ページに書ければなと思っております。はい。
2:03:51	それ以降具体の話を展開してますけど、
2:03:57	文字の
2:03:59	大きさだったり、情報の他と違う制度で、そこは合わせていきたいと思えます。
2:04:06	で、74 ページから 72。
2:04:10	8 ページ目に MOX 今第 2 回申請での評価項目、説明グループ 1 に限らず、全体をピックアップしてますが、
2:04:18	もうちょっとこれも、説明グループ評価項目の説明グループ、合わせ技にする評価項目の流域したものが、最終的にその段階でやるものだったり、
2:04:31	構造設計の説明が出てくるものとの関係であったりというのをどう考えているかを、ちゃんとわかるように考えないといけないなと思いつつも今は評判つけてクロズミ恣意性について、
2:04:43	この
2:04:44	ロジックを、ちゃんと説明センターがあると思います。どちらかというと評価項目を全部出すってことと、その考え方をちゃんと示すと、いうことが大事ななと思いますのでそういったところにスコープを当てた。
2:04:55	説明の内容になるようにしていこうと思っております。はい。
2:05:00	あとは、79 ページ以降で、評価項目をどう整理していくかの例を書いてますがこれを、
2:05:08	他と比べて、

2:05:11	字がちっちゃかったり、文章がだらだら書いてあるところはもうちょっと、
2:05:17	整理が必要かなと思ってますので、ブラッシュアップさらに詰めていくと。
2:05:23	はい、まだちょっとできるんですけど、はい。
2:05:28	終わりますはい。
2:05:31	山梨です。それじゃ、わかった人がいましたもんです。
2:05:38	規制庁の荒井ですけど。
2:05:40	まず全体的な話で、説明時間と説明資料等説明。
2:05:48	標準版っていうのは説明時間 20 分っていうか、ことでまずはいいですかね。それと後、説明はもう一気に。
2:05:56	グループ構造設計評価っていう流れで、一気に通貫で説明するってことでいいですよ。はい。二本木ニシダでございます。はい。説明時間 20 分のセットさせていただきます。説明も一気に通貫でと言いながらですね若干ちょっと今考えてるのは、
2:06:11	40 ページの項目の三つのうち、一番最初の説明グループの話が私が説明すると一番最後の解析評価も私がやります。ただ今後のことも含めて外傷の
2:06:23	説明グループ 1 の構造設計の話を、
2:06:25	石黒さんにやってもらおうかなという。そこで説明者をバトンタッチすることは考えてました。はい。
2:06:32	はい。今後のことを考えてっていうところもあるかもしれないですけども、
2:06:38	ちょっと竜巻以外のところも入ってるので少しそこは、医師、こちらで心配するのもあれですけど、適宜
2:06:47	対応いただければと思っています。ちょっとそれでちょっと気になったのが、はい。資料の 57 ページ目で申請書の不整合の話があるじゃないですか。はい。30 程度で、
2:07:00	これを説明するときって、ここはもうここで、こういうものがありましたっていう紹介をするだけで、共通 12 の本体の別添の方を、
2:07:11	別添資料ですかね、資料 2 か何かでつける。
2:07:14	ところに波及してこの部分ですよとかっていう説明はしないっていう理解でいいですかね。
2:07:19	二本木記者でございます。逆に言うとまだ我々も
2:07:25	ハッチングしてここがこう変わりましたみたいな資料すら出せてないので、現状は、今回の審査会合はこのレベルかなと思ってました。はい。ただ今後やらなきゃいけないこととしては認識をします。かつ、
2:07:38	それがなぜ起こったかっていうのの原因も含めてちゃんと整理して、
2:07:42	はい。

2:07:43	はい。そういう意味だと共通順位の方も変更点がやっぱり今後整理していきますというところが少し口頭で触れられるぐらいですかね。はい。
2:07:51	うん。
2:07:52	はい。
2:07:54	他はですね
2:07:57	少し細かいところで言うと、57 ページ、58 ページ目以降で、資料 3 関係の抜粋が出て、各外傷関係に対して、
2:08:07	網羅的になっていくところだと思うんですけど、ちょっと並び順が多分、建物、設計説明分類の順に今並べてると思ってて、
2:08:18	そこはちゃんとそういう説明しますって言っていただければいいんですけど。
2:08:23	最初の建屋のところ、ちょっと竜巻関連今回出てくるので、竜巻の
2:08:32	建屋の構造強度の観点で、緊対所の図面があったと思うのでそれも追加していただきたいなと思っています。ちょっと今ヒライ設備の観点しか入っていないので、
2:08:43	はい。
2:08:45	ちょっとお願いしたいと思うんですがいかがですか。はい、八木沢でございます。はい。
2:08:50	細井です。ちょっとごめんなさい。ちょっと関連で確認なんですけど。はい。
2:08:55	67 ページ、8 ページで、
2:09:00	今回説明が、
2:09:01	八条だけになってるのは何ですか、今言ったように耐震なり、
2:09:07	他の項目も、
2:09:10	あるんだと思ってたんですけど。はい、仁科でございます。説明グループ 1 の範囲に、ちゃんと塗ります。はい。そこが抜けてますので。はい。はい。
2:09:21	ファックスで規制庁へそうすると津波とかも入ってくるわけですよ。はい。
2:09:27	そう。ウダの津波って、
2:09:31	何かついてください。はい。
2:09:34	わかりましたじゃ説明グループ 1 の範囲というところで他のところも青塗りにして一部説明という形でやるということで理解を私も理解しました。
2:09:46	ところだけです。一方でですね 57 ページだと、二つ目のマルd、矢印が書いてあって、
2:09:56	指摘事項についての対応っていうので、ページ以降で書いてあるんですけど、



2:10:00	先ほど説明いただいたところだと次ページ以降ではなく、65 ページってなっちゃうんですけど、65 ページあんまりいらない。
2:10:10	ので、
2:10:10	65 ページのエッセンスをちゃんと先ほどのウノ全体でも書きちゃって、はい。66 ページのものも、これ参考ということでもいいんですけど、参考は 63 ページ。
2:10:23	はい。
2:10:24	の後に、はい。セットでつけていただくと、わかりやすいかな。
2:10:32	はい、上西でございます。はい、ありがとうございます。
2:10:36	先生、
2:10:38	荒井さんどうぞ。
2:10:39	はい。規制庁荒井です。大きなところは以上であると、最後の 67 ページと 68 ページの赤色と多分、SAのことを書いてると思うんですけど、アンリユウアカイシ、はい。
2:10:54	はい。お願いしたいと思います。
2:10:57	あとは解析評価のところ最後大体やってることはいいかなと思うんですけども、10 条の、
2:11:06	①をサンプルとして挙げた理由って何かあるんでしたっけ。今までやってきたからだけってことでしょ。
2:11:13	ちょっとグループ 1 と関係ないです。はい。悩みました。ここグループ 1 で変えようと思うと、風量の話が出てくるんですけど。
2:11:23	進め方でもいいと思うんじゃないのに、不要いきなりやるかなっていうところもあって今、増益イケダにしています。本来はグループ 1 の解消がいいでしょうけど、マスキングがなるべくないっていうのも含めて考えると、
2:11:37	これが一番いいかなと思っておりました以前、
2:11:42	ずっとマッピングをしていたウエキのタカハシのメーカーと話をしまして、何かノウハウであったんです。マスキングを始めたので、マスキングゼロという意味では、これが
2:11:54	公開の場でやるにはちょうどいいかなという気がしてまして一気に通貫で情報見れますので、はい。
2:12:01	はい。市長荒よりわかります。情報ノダイセという観点でそこでつけてるということを理解しました。私からは、全体的な、ちょっと細かいところもありましたけど以上です。
2:12:13	規制庁加賀です。はい。どうぞ。私からもちょっと全体的な話で、まず、今回Google、再処理のグループ一井の会社関係でこの間ヒアリングした資料から、

2:12:24	そういうものを幾つか、58 ページ目からつけてますが、本番までにこの図とかは更新されるんですか。
2:12:34	はい。宮城ニシダでございます。非常に厳しいと思ってまして、厳しいというのは、理由は単純に図が適切になるように差し替えるっていうのは、ものがあればできるかなと思ってんですけど。
2:12:48	例えば 59 ページみたいですね、何説明したいんだかようわからんやつは、これは逆に言うとこれ、前、6 日のヒアリングで正しく話になったらこれ竜巻で出てくるんですけど、北川木藤自体が、
2:13:02	他のところで代表になってなくて、これ以降何も情報が出てこないっていう、よくわからない状態になっているのであの評価も含めて代表をちゃんと選んでいくっていう考え方のまさしく、
2:13:12	今のはずれてるポイントかと思ってますので、そういったことも含めて今後精査を整理をしていくということの話かなと思ってましたんで現状は
2:13:24	が、適切でないところは多少直し指導全面的に直すのはなかなか難しいという状況かと認識をしてました。
2:13:31	はい。規制庁勝です。じゃ、別添で作る共通 12 の再処理側こないだのヒアリングプラス、ちょい治せるぐらいの感じになるっていうことですか。はい。はい。
2:13:44	はい。清長からわかりました。あとMOX側はどこまでつけるのかというのがちょっとわからなかったんですが。はい。つけます。資料、
2:13:57	1 から 3 をつけるとボリュームだけやってか、説明対象でもないところもあるんで、ボックスの資料 4 は少なくとも、
2:14:05	これ以外の(1)(2)(3)、今、
2:14:10	評価パターンの括弧 2 かな、の代表になってますけどそれ以外のパートでの項目のサンプル的なものも資料 4 としてはつけて、お出しをしようと思ってますので、
2:14:23	そのセットにしようと思ってました。
2:14:26	はい、規制庁から再処理のグループ 1 棟MOXのA棟、
2:14:31	Aグループ 1 資料 4 が、
2:14:34	落ちてくると、その別添の何か、
2:14:38	東ね方ってどういうふうにかえられてますか。
2:14:42	日本原燃車でございます。
2:14:46	別添の、
2:14:48	添付。ただ、
2:14:51	添付 2 の中で別添の 9 で別な添付の中の構成で何がついてるかっていうところの、

2:15:00	最新データが、これが今回ついてますみたいな表があるので、その定数リストについてのものを明示して、それに該当するものをつけるということで今思っていました。
2:15:10	はい。政調会長わかりました。で、あとその中に入ってくる説明グループ説明分類は、どういうフェーズのものになりそう。
2:15:18	説明グループ説明分類はこの状態今説明グループ1の表がついてますが、例のヒアリングでお出した
2:15:30	条文ごとの説明すべき項目が並んで、こういうふうグルーピングして、言葉を入れ替えますよみたいな話をしたやつのもも含めてその状態の別添が、
2:15:41	後ろにつくような形で思っていました。
2:15:45	はい、規制庁からそれだとそのグループ1は結構ちゃんとしたものが書かれて、グループ2以降は、こういうものに、検討しても修正が必要だということも認識した上ではい。そのステータスがわかるように、
2:15:58	弁側で工夫をしたいと思います。はい。はい。清長官、わかりました。ちょっと前段というか、まずどういうふうに、今回審査の形式で範囲を決めていくかっていうところの参考として伺いましたので、
2:16:12	あとちょっと資料4のことなんですが、いろいろ、先ほどもおっしゃっていただいた通り、まだ少し説明が不足しているところがあるんですが、
2:16:21	おそらく今言っていたことで直ってるところが多いと思っていて、位置付けとしてちょっと伺いたい今回のサンプルで、先ほどグループさんのものを、
2:16:32	でもわかりやすかったからっておっしゃってましたほら、80ページ目のその注意書きは、
2:16:38	これは、
2:16:40	80ページ目のその注意書きで、
2:16:43	施設外OS墓石のことも含めて、今後、このサンプルの中の記載もグループ3までいくうちに変わりそうですっていうことを言いたいということですか。
2:16:54	乳井、宮でございますそういう趣旨ではないですあくまで説明のタイミングとしてグループさんに、
2:17:05	イマダな。
2:17:08	すみませんちょっと待ってくださいね。後の細かいスケジュール、データとかは、確かに、雪害漏液デッキをセットにすると多分変わってくる可能性はあるので、
2:17:21	この趣旨がちゃんとわかるようにこの文章アノつー書きを明確にしたいと思います。はい。

2:17:27	はい、規制庁河津 はい。今伺った通りちょっと不明瞭だったということで、かつ今回出すわけではないという、まずそこは大丈夫です。はい。
2:17:37	はい。大丈夫です。
2:17:40	わかりました。で、あとちょっと資料 4 の話で、急に資料 4 とか出てくるんですけど、例えばですね、
2:17:50	70、
2:17:52	2 ページ目から急に資料 4 と言うた方が出てくるんですけど、ここまでの間で資料 4 というところが出てきてなくてですね。
2:18:00	兵頭さんにかけていうことを、ちゃんと前段から、
2:18:04	これを資料 4 と呼びますでもいいですけど、ちゃんと繋がりがわかるようにしたいという。
2:18:10	ところとかですね。はい。
2:18:13	あと、ため池が出てくるたびにリットルとキュービック設置とキュービック。スクエアセンチとミリとか、いろいろ出てくるんですけど、
2:18:23	これ一般の方も見るので、その辺はちゃんと 1 ヶ月でしていただきたいとかちょっと細かい話です。
2:18:32	はい。
2:18:34	そうですね、はい 85 ページの表になるとサイトウ。
2:18:39	コウがミイで書いてあるセキが設置された。
2:18:43	データになっていて、これが入れ替わると単純に見た時になります。はい。ちょっと考えます。はい。
2:18:51	はい。清長君であと、ちょっと 75 ページ目、これはイトウを確認したかったんですけど、もう、
2:18:57	番号の 17 条①から、ブルーのラインで説明グループさんの方に飛んでいて、これで、
2:19:04	何を説明したかったものなんですか。日本原燃石田でございます。ちょっとこのグループの青い線はもうちょっと展開を全部書いてって思ったところで中途半端で終わってしまったんですけど、まず、17 条の 1 が崩壊熱除去に係る半期風量の評価と、
2:19:22	ということで、その前提にある構造設計も含めた説明が一番上のところでグループ 3 が最終バッテリーですよということ、さらには 17 条の①で言っている評価の内容そのものが、
2:19:36	20 条の①番の換気設備の排風機としての全体のキャパを説明するための前提になるので、その前提としてのリンクがありますよ。

2:19:46	いうことも含めて、流れていって、またそれをの結果として、20条の①番の風量設定最終的な風量の話がグループ3になりますというインテージなると。
2:20:00	いうことも、そういったリンクもあるよということを前提で説明しようと思ってましたがこの流れを、多分、考え方をちゃんと説明しないと、このセンターで結んでもようわからんので、先ほどあった
2:20:12	どの説明グループに資するのが最も合理的かというときに何をどういうことをまず考えなきゃいけないのか、それを考えたときの具体的なパターンとしてどんなものがあるのかっていう考え方を改めて、多分全体の流れにつなげていけるかな、いければ、
2:20:30	もう少しわかりやすくなるのかなと思ってました。
2:20:33	政調会長のおっしゃる通りで、そういう修正をされれば、ちゃんと流れがわかると思いますので、そこは認識されているということで了解しました。私からとりあえず以上です。
2:20:46	店長の藤村です。
2:20:48	これグループとかの関係の部分なんですけど、
2:20:52	今回、資料の状況としては、今回のヒアリング、ほかにはなく、ヒアリングから資料基本変わってないです。
2:21:00	という状況ない、全部現状は変わってないです。
2:21:05	わかりました。
2:21:06	センターみたいなので、ヒアリングでお伝えした項目が認識されているのかもわからない。なるほど。はい。あとその92の、
2:21:15	うん。昨日は国分タケダで、各町での説明すべき事項もわからない状態なんで、今、どう理解されてるのかというところでかなり不安に思ってるんですけど。
2:21:26	単純な修正じゃまならない状況っていうのがちょっと怖いんですけど。
2:21:34	はい。次、光田でございます。
2:21:38	まずは、はい、おっしゃる通りです。
2:21:41	はい。先ほど言った、
2:21:51	12提出の11日にマエダ雄と言ったもの、この中で、
2:21:57	前回のヒアリングでいただいたやりとりの結果を踏まえて修正をすることでそれを前提にこれ全部、それも含めて入れるということで、まずは考えて、
2:22:13	そのために、
2:22:15	使うだけ確認したい。例えば48ページの津波のところいっぱいとかは全部36条にずれている部分ありましたよね。はい。
2:22:25	管理するし。はい。

2:22:28	グループで説明されるのか。
2:22:31	とか、はい。
2:22:33	日本でニシダでございます。はい。
2:22:37	松波としてみれば、グループの中でグループ1の中である程度クローズできるのかなと思いますので、グループ1ナカに入れ込むのかなと思ってました。わざわざ機能との関係でわけじゃない、意味がないんです。
2:22:51	城野常務です。はい。私もそう思っていてあと、
2:22:55	アクセスだと思う。
2:22:57	そういった意味でもそうです。そうですかといって、あと例えば50、
2:23:08	9ページなんかは気になってるところとしては、
2:23:11	前回の代表での提示、
2:23:15	中出江藤小倉に配置する設計っていうふうに、
2:23:19	わざわざ今までは、防護設計みたいなところでやってたのを分けて、こういうのを作られた外傷の部分と、
2:23:28	逆にそれを入れて防護設計ってやってる、整理をしているところがあると思って例えば雷なんかをまわします。
2:23:36	ちょっと、
2:23:38	だけど、凍結とか高温とかになると、逆に外だしにして分けていってるところで、その辺の通りのブレというか、はい。
2:23:48	違うつけないんであればその理由も、はい。お聞きをしたいんですけど、この
2:23:53	例えばその51条の51ページの枠でいくと、オクノヒガシセキってあるけど、その下には、直撃でも、
2:24:01	入るわけじゃない。なのでそのあたりの整理をきちんとされておいた方がいいのかなと。グループ1の中の話なのでそんなに、きちんときちんとしていうわけではないですけど言葉がぶれて
2:24:12	畠埜ニツタ。
2:24:15	なるので、整理をしてくださいと。
2:24:17	いったところとあと、
2:24:19	こういった外部事象では、同じような設計で語りそうな部分についてはそのマージをされていってるんですけど、
2:24:27	最初6条の、
2:24:28	項目でなると、1.2 井清する木内なんかすごくいっぱい分けられてるんですよ。
2:24:33	それはそこまで本当に分ける意味があるのかな。はい。
2:24:36	例えば常設の
2:24:39	S線

2:24:41	4、
2:24:42	DB転用をわざわざ分けて、あと、
2:24:47	議員。はい。はい。はい。意見みたいですか何か分ける必要があるのかないのかっていったところで、はい。ちょっと正規のその辺は今後の話ニワグループにはなるので、
2:25:01	ある程度この表の中に出てくる
2:25:08	はい、上西でございます。はい。まずは、前回のヒアリングで、この隅括弧で書くときの書き方の統一的な考え方を作って、それを11日に出す上では、こういうふうグループ、
2:25:24	累計して説明を変えていきますよと、いうことを、ちゃんと整理をして、それを反映したものにしようと思ってます。その中でおっしゃっていただいたように
2:25:34	外傷関係でも、凸凹感があるのでそれも統一した書き方にしようということでもやろうと思ってます。さらに、おっしゃっていただいた1.2Ssの1.2S単独でそもそも置いておく意味があるのかっていう
2:25:46	私は構造設計で第1節ったらマエネしてやってもいいだろうという、
2:25:52	個別にたときには一定にSsってキーワードを出すんですけど、タダノ耐震でいう建物構築物の中に行くとニイズが入ってますみたいな書き方でも随分続けるのかなと。
2:26:02	そういった書き方の整合、
2:26:05	いいかというか、いうのもさせていただこうと。
2:26:07	はい。
2:26:10	お願いします。
2:26:11	回線で140、
2:26:18	あんまり使って欲しくないなど。
2:26:20	これは30分とって、重大事故。
2:26:24	みたいな話で入ってると思うので、はい。そういったところも対応していただければ、
2:26:37	今回、40、
2:26:40	衛藤グループ1のダイヤの一つ目の矢羽根二つ目のところで、構造設計ということ。
2:26:49	(1)番、括弧閉じってなってるんですけど。
2:26:53	変ないって、
2:26:54	この適当になってこっち等を外して言っております。
2:27:07	アノ。
2:27:10	はい。

2:27:16	一応ヤマグチでしょうから、規制庁からヨシノに関して確認ございますでしょうか。
2:27:25	古作です。ごめんなさい。
2:27:28	大枠とというの忘れちゃったんですけど、先ほどの 6768 のページのものって、何でここに入ってるんですしたっけ。
2:27:38	はい、西田でございます。すいませんいろいろ、私が言っている承認されましたけどこういう場合に持っていきます。はい。
2:27:46	前の方で多分、
2:27:48	順番でいくと、
2:27:50	ちょっとそういう意味では例の
2:27:53	本当であればですね、
2:27:57	耐震についてる 4 ページ 5 ページにあるようなものが、頭がないといけないんですけど、
2:28:04	外す話もあって、出しづらくて今、67、68、今変わっちゃってるので、ごめんなさい。だからこそ、変わったのだからこれが一番前に来るっていうことだろうなと思ってて、はい。
2:28:18	前のやつを残すのであればそれを後ろにっていうことで話が前回あったはずで、
2:28:24	と言いつつ、今回三部作になっててですね、三部作のう。
2:28:31	二部のところの頭ということなの。はい。
2:28:35	最初なのとかかっていうんですけど。はい。2 分の 1。
2:28:41	アノの頭に残すと表紙が 56 ページなので、はい。
2:28:47	はい。
2:28:48	7 ページ目にそれは、
2:28:50	長橋さん。はい。
2:28:54	ですから、ちょっと 57 ページが前でもいいかなっていう気も若干はしますけど、そこら辺は整理してください。
2:29:09	あとは 3 部のところは、ここまで出すのかっていう気もしますけど、
2:29:19	書きぶりなんか整理をされるっていうことだったのでポイントが明確になるようにして、
2:29:24	次の作業に繋がるようにしていただく。
2:29:28	はい、右田でございます。はい、ありがとうございました。
2:29:32	位置付けも含めて、
2:29:41	きちっとヤマグチです。今回の資料に関して、規制庁側から、
2:29:45	発電所、あ、あ、ごめんなさい、類似の話ですけど、
2:29:50	参考 2-101 ページのやつって入ります。
2:29:59	これあれか。はい。



2:30:03	やりたかった音楽表ありと、これが資料 4 という意味でってことですね。ただこれまだ方針の説明で具体入ってないので
2:30:14	はいちょっと 101 ページ以降、
2:30:24	今の話で、共通 12 のボックスの資料 4 を出されるからこれをつけたんじゃないんですか。もともとはそうです。ただ先ほど、私も説明しながら、結局これ一本でやったことになる。
2:30:38	表さんがいたときの考え方も、
2:30:40	タダアノ。
2:30:41	この評価の考え方を整理する中で整備の方針を示すだけ、中でも 73 ページで言ってる(1)(2)(3)のそれぞれのパーツをどういうふうに整理していくかっていうイメージも含めて、
2:30:56	ないと辛いかなと思って今回資料 4 をつけようというのがもともと考えたこと。
2:31:00	ただ中身を、これでフィニッシュというよりは全体の整理の方向性っていうのを決めるとすると、あまりあのハッチングをするという状態ではないのかなと思ってました。
2:31:11	規制庁がわかりました。そういう位置付けがあるのであれば、はい。大丈夫。
2:31:15	いつでしょ。
2:31:17	昨日その上で 74 ページのからの数ページにわたって、前回ヒアリングで少し話題にしましたけど、あれ、今日今日の前半か。
2:31:28	資料 4 に関する説明グループと、
2:31:32	いことの議論があまりされてないまま、ここにその説明グループとして出てきちゃって、
2:31:39	いてですね。
2:31:40	こ令和どうしましょうかというところなんですけど。
2:31:47	はい。まずは、ですね一つは、
2:31:53	やめてね、まず評価項目っていうのは網羅的に抽出するということと、あと評価項目に応じてどのタイミングで説明するかっていうのをちゃんと考えなきゃいけないんですよ。
2:32:03	説明資料 1 から 3 とは若干説明グループの単位が違いますよねっていうところの、思想はまず語らしていただくとして、今の時点の資料が全部あってこの中身細かいところまでやるかっていうとそこの線引きかなと思ってます。
2:32:18	考え方をちゃんとまず説明させていただくと、別添側に評価項目の一覧表につくことはつくんですけど、これがどちらかというところと確定したというよりは、考え方をまずはこう整理しますよということが、

2:32:31	わかれば、まずはいいのかなというところで、整理をしていこうと思ってますけど。
2:32:38	等、
2:32:39	考え方っていう関係からすると、構造設計の方がグループ1と3に跨っているというものは毎月あるグループさん。はい。
2:32:50	を踏まえてやりますよという判断を今回はされているというのが大体、はい。一方で75ページの23条①だけは、
2:33:03	先行してやりますはい。
2:33:06	いう。
2:33:07	だけじゃないのかな、うまくは、はい。
2:33:11	微妙。
2:33:15	微妙なのは、
2:33:26	ミズタウダまず類似したのは、77ページの、6条27条の②。
2:33:34	と。
2:33:34	その二つ下の④。
2:33:38	が、最初に出てきたところで、
2:33:43	これはそこ言いましたけど、
2:33:46	基本、耐震はグループ1313。
2:33:51	2じゃない。
2:33:56	ソックスは逃げ償還。
2:34:00	メインとなる機器が出てくるところでボンボンとやりますと、
2:34:08	ということなので、それに引き続いて、
2:34:17	で、
2:34:19	そのあたりぐらい考えを少しまとめていただくといいですかね。
2:34:26	その考え方をちゃんと書いてそのサンポ的な部分のグルーピングをどうしていくかっていうところを書いてということが今回としては、ターゲットかなと思いますんで、
2:34:40	はい。はい、古作です。その上で、これグループ。
2:34:45	の数字を、構造設計の方と合わせてイクノそれはそれでもいいんですけど、これで言うとそのグループさんがやたら多いんですよ。
2:34:56	これをさっきと一緒にですけど、ドーンとやるのかっていうと、違うだろうと。
2:35:02	この中にも、類似のものと全く毛色の違うものがあるって、
2:35:07	それは順々にやってくんじゃないのって思うので、グループ3の123みたいな感じですね、少し段階を追ってなり、パラであっても、分けて、
2:35:17	議論するっていうことが必要じゃないかなと思うので、
2:35:21	その点は少し、
2:35:24	整理をして欲しいなと思い

2:35:26	はい、西尾でございます。はい。
2:35:30	おっしゃっていただいて、
2:35:31	一番片川どころの類似性も含めてまたグループ、
2:35:36	ちょっと考えて、
2:35:44	1 バッチから、
2:35:48	桑川谷津か。
2:35:51	について、簡単に振ったり、
2:35:54	新聞を含めて、
2:35:59	そして先ほどの振り返りでございます。全体といたしまして、このですね、生活資材経営支援のところまでは共通でそれから分析の
2:36:12	ところについては筆談でまず説明するという形でちょっと構成を見直さないといけないと思ってます。6 ページの初めのところもそういう流れがわかるように記載すると。
2:36:25	いう高等科として考えてございます。適用するすいません。お示していたですね、いいですか、この制度を進めて坂野他の建屋戻ってですね、ちょっともう一度していただいて、ご提示というふうに考えてございます。以上でございます。
2:36:42	はい。
2:36:46	はい。
2:36:47	構造設計の方ですけども先ほど説明の中で申し上げたところを、全体的に修正をしながらかつ全体を見ながら、整理、
2:36:56	はい。あとは先ほど
2:37:00	進捗を示す表の 1 とかですね、等、
2:37:04	今つけてる構造設計とかのパーツの拡充とか、はい、設置させていただきます。はい。
2:37:15	オカセンターとして規制庁側から言う。
2:37:24	パリアリング終了しますので録音します。